

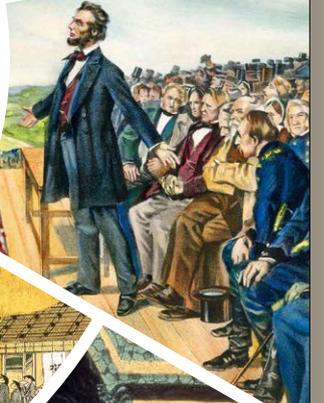
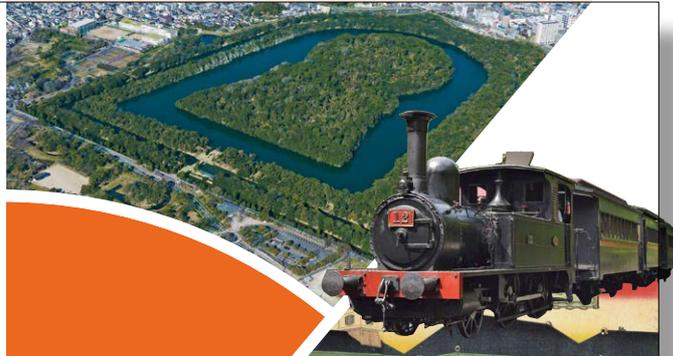
令和
7年度版

中学社会 歴史的分野 内容解説資料

学びと指導によりそう教科書

文部科学省検定済教科書 中学校社会科用

116 日文 歴史 116-72



日本文教出版
Webサイト
新版教科書情報



日文

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。



心が動く、その先へ。
日本文教出版

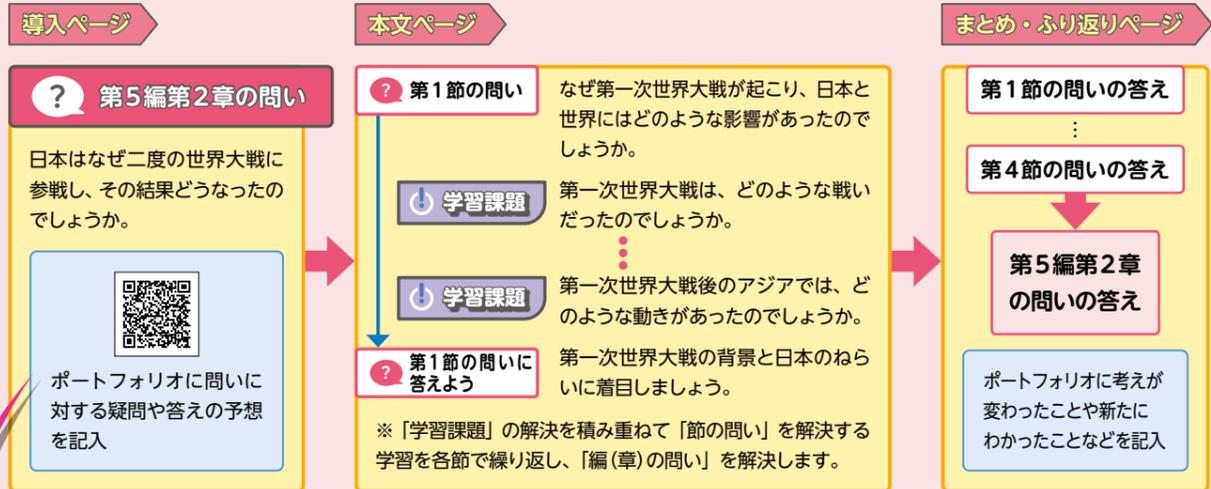


新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント



1 指導と評価の計画に基づいた教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ→ 問いの構造 ▶ P.6-7
単元の構造 ▶ P.8-13



● 内容のまとまりでの授業を実現する教科書

- ① 導入ページ…単元を貫く問いを立て、学習の見通しをもつ → ② 本文ページ…問いを追究する
 - ③ まとめ・ふり返りページ…問いを解決し、学習をふり返る
- ポートフォリオは、生徒の学びの自己調整や、主体的に学習に取り組む態度の評価に活用できます。

2 教科書QRコンテンツが充実した教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ→ 3つの柱 ▶ P.16-17
歴史独自コンテンツ ▶ P.18-19

ポートフォリオ

イントロダクションムービー
鎌倉幕府の成立やユーラシア大陸からの影響は、社会をどのように変えたのでしょうか。
元との戦い
鎌倉幕府
将軍
公家
御家人
どのような影響をあたえたのかを考えましょう。

確認小テスト
このほかに学習内容に応じた個別のコンテンツを多数ご用意しています!
→ スキルUPの解説動画、思考ツール解説、巻末年表など

● 系統立てて配置した3つのコンテンツ

- ① **ポートフォリオ**…導入ページでダウンロードできます。自己の学びの記録を一覧でき、ふり返りに活用できます。
- ② **イントロダクションムービー**…各節の最初に設定している動画で、学習する内容を見通すことができます。
- ③ **確認小テスト**…本文ページに設定している選択形式の問いで、知識の定着に役立ちます。

3 新しい時代を担う主権者を育てる教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ→ 持続可能な社会 ▶ P.20-21
現代的な諸課題 ▶ P.22-25

歴史を学び、未来を考える P.4-5

「歴史との対話」を未来に活かす P.298-299

課題例 3 世界平和への取り組みに学ぶ
20世紀は「戦争の世紀」でした。二度の世界大戦ではかつてない大きな犠牲が生まれ、その後も戦火は絶えませんでした。しかしながら20世紀の世界は、むごたらしい戦争への反省から、戦争を違法とし、武力による威嚇や武力の行使を禁止して、平和をつくるためのしくみをつくってきました。
学習課題
戦争を違法とし、それを禁止するルールをどのようにしてできたのでしょうか。
見方・考え方 つながり
これまでの取り組みの意義と課題の両面に着目しましょう。

戦争・紛争	犠牲者数
第二次世界大戦 (1914-1945)	5355万
第一次世界大戦 (1914-1918)	2000万
第二次世界大戦 (1939-1945)	5355万
第二次世界大戦 (1945-1949)	236万
第二次世界大戦 (1967-75)	150万
第二次世界大戦 (1979-89)	122万
第二次世界大戦 (1979-89)	150万
第二次世界大戦 (1991-95)	20万

● 歴史を学び、自らの将来やよりよい未来の創造につながる教材

生徒の確かな成長と人間尊重・平和な社会の実現を願い、教科書全体を通してよりよい未来の創造やSDGsについて考えられる教材を掲載しました。また、**基本的人権や平和・命の尊さ、近隣諸国との関係、環境・資源・エネルギー、防災・減災、伝統・文化**など、現代的な諸課題を考えることができる教材を幅広く扱っています。

4 先生・生徒がわくわくする楽しい教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ→ 時代像をイメージ ▶ P.26-27
知識及び技能の習得 ▶ P.28-29
生徒自ら歴史を発見し、考える ▶ P.30-33

本物の資料から時代に迫る P.214-215

身近な地域の歴史を調べ、考察する P.60-61

● 歴史との対話を通して、生徒が自ら歴史を発見し、考えることができる工夫

歴史の時代像をイメージできる図版を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得をサポートできるよう工夫しました。また、生徒自身が**地域や世界、現代とのつながり**のなかで歴史を発見することができる教材や、**発達の段階に応じた多様な教材**で、**主体的・対話的で深い学び**を実現できるようにしました。

編集 基本方針

私たちの教科書は、生徒たちを新しい時代を担う主権者へと育てるために、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く力をつけ、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編集しました。

基本方針

1

生徒が主役の 楽しい学び

単元を貫く問いをつかみ、主体的・対話的で深い学びへと導きます。



基本方針

2

社会科授業を 手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につき、教師は指導と評価のポイントが一目でつかめます。

基本方針

3

よりよい社会と 豊かな人生の創造へ

持続可能な社会を実現し、豊かな人生を切り拓くための生きて働く力を鍛えます。



目次

新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント	2
編集基本方針	4
1 指導と評価の計画に基づいた教科書	
新しい教科書の「問いの構造」	6
問いを立て、学習を見通す導入ページ	8
授業や生徒の思考の流れを重視した構成	10
問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ	12
見方・考え方を働かせた学習を実現する工夫	14
2 教科書 QR コンテンツが充実した教科書	
教科書 QR コンテンツ 3つの柱	16
歴史の学習をサポートする様々なコンテンツ	18
3 新しい時代を担う主権者を育てる教科書	
よりよい未来の創造にかかわる教材の充実	20
現代的な諸課題を考えることができる豊かな教材	22
4 先生・生徒がわくわくする楽しい教科書	
資料を読み取り、時代像をイメージするための工夫	26
基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得をサポート	28
身近な地域や世界とつながる歴史学習を提案	30
主体的・対話的で深い学びを実現する教材の充実	32
学習上配慮した点	34
分野間・教科間連携	36
地域事例一覧	38
学習指導要領との対照表・配当授業時数	40
観点別教材一覧	41
教師用指導書のご案内	42
デジタル教科書・デジタル教材のご案内 日文Webサイトのご案内	44
教科書検討の観点からみた内容の特色	46

教育キーワード検索

○指導と評価の一体化	9、11、12
○内容のまとめ	6-7
○単元を貫く問い／問いの構造	6-7
○ポートフォリオ	8-9、13、16-17
○見方・考え方	14-15、33
○主体的・対話的で深い学び	6-7、32-33
○考察・構想	20-21、25
○協働的な学び・個別最適な学び	10、17、27
○小中高の接続	37
○特別支援教育	34-35、44
○SDGs・持続可能な社会	20-25
○ICTの活用	16-19、44
○自学自習	16-19
○現代的な諸課題	22-25
○情報活用	18、29

新しい教科書の「問いの構造」

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

新しい教科書では、**問いを構造化**することで**内容のまとめりでの授業**がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「節の問い」や「編(章)の問い」を解決する構造になっています。教科書の問いに沿って授業を進めていくことで、**主体的・対話的で深い学びを実現**することができます。

単元を貫く問いを立てる

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」(「編(章)の問い」や「節の問い」)を立てます。



学習課題を追究する

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」「表現」の問いに答えます。



単元を貫く問いを解決し、ふり返る

学んだことをまとめ、「節の問い」について考えたことを手掛かりに「編(章)の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。



第5編第1章 日本の近代化

? 第5編第1章の問い

大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているのでしょうか。

注目! 「単元を貫く問い」で、授業をデザインする

内容や時間のまとめりにより構成された授業をデザインすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できます。

? 第1節の問い ? 第2節の問い ? 第3節の問い ...

第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き

? 第5節の問い 条約改正、日清・日露戦争は、日本にどのような影響をあたえたのでしょうか。

1 列強の動向とアジア

学習課題 なぜ、日本はこの時期に条約改正を実現することができたのでしょうか。

確認 日本にとって不平等条約の改正が必要だった理由について、確認しましょう。

表現 憲法の制定など近代国家としての制度の整備や当時の世界情勢が、条約改正とどのように結びついたかを説明しましょう。

2 朝鮮をめぐる対立

学習課題 日清戦争はなぜ起こり、その結果、日本はどのように変わっていったのでしょうか。

確認 日清戦争の結果は、日本・清・朝鮮・ロシアにどのような影響をあたえたのかを整理しましょう。

表現 日清戦争の結果、どのようなことが起こったか、国際関係と国内の動きから説明しましょう。

3 朝鮮・満州をめぐる日本とロシアの対立

学習課題 日露戦争は、なぜ起こり、その結果は、日本にどのような影響をあたえたのでしょうか。

確認 日露戦争のきっかけについて、日本とロシアの動きを確認しましょう。

表現 日露戦争の結果、どのような影響があったのか、対外関係と国内に着目して説明しましょう。

? 第5節の問いに答えよう 日清・日露戦争前後の日本の国際的な地位の変化や動きに着目しましょう。

「近代(前半)」を整理する

第1節の問いの答え
:
第6節の問いの答え

? 第5編第1章の問い

大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているのでしょうか。

注目! 時代の特色を考察する

「編(章)の問い」で答えたことを踏まえて、学習してきた時代の特色を、視点を定めて考察する活動をします。

「近代(前半)」の特色をさぐる

「近代(前半)」にはどのような特色があるか考えましょう。

近代(前半)の学習をふり返ろう

主体的に学習に取り組む態度

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

問いを立て、学習を見通す導入ページ

導入ページでは、各時代の人々や社会の様子を示す資料を生徒が主体的に読み取り、それをもとに話し合う協働的な学びを通して、「編(章)の問い」を立てる活動を提案しています。また、立てた問いの答えを予想することをうながして、その後の学習の見通しをもつことができるようになっています。

第2～6編 各時代の学習

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

第5編 第1章 近代の日本と世界 日本の近代化

学習のはじめに 江戸と東京を比べよう

近世 江戸時代の江戸のようす

近代 明治時代の東京のようす

気づいたことを出し合おう

「近代(前半)」という時代のイメージをつかもう

「近代(前半)」という時代のイメージを書き出しましょう。

江戸時代は木造の家が... 明治時代では、洋物の家が多くなりました。

前代に比べて、どのようにして西洋風のものが増え、西洋文化の影響を受けたのか。

「近代(前半)」は、近代化を始めた日本が、西洋文化の影響を受けた時代です。次のページの年表で、主眼点となることを確認しましょう。

年表と地図を読み取る

第5編第1章「日本の近代化」の動き

気づいたことを出し合おう

年表から「近代(前半)」という時代を見通そう

日本と世界のつながりを確認しよう

年表の「主眼点」の欄を見ると、「近代(前半)」の日本は、世界の多くの国とつながることになります。日本は世界とどのようなつながりがあったのでしょうか。

年表の「主眼点」の欄を見ると、「近代(前半)」の日本は、世界の多くの国とつながることになります。日本は世界とどのようなつながりがあったのでしょうか。

第5編第1章の問いを立てよう

第5編第1章の問い 大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているのでしょうか。

第1部の問い 議院制民主主義や資本主義、工業化は、どのような近代社会をつくったのでしょうか。

第2部の問い なぜ、約260年間続いた江戸幕府がたつたことになったのでしょうか。

第3部の問い 明治維新の経緯によって、社会はどのように変化したのでしょうか。

第4部の問い 日本における立憲制はどのように始まり、展開されたのでしょうか。

第5部の問い 条約改正、日清・日露戦争は、日本にどのような影響をもたらしたのでしょうか。

第6部の問い 産業の発展によって、社会や文化はどのように変わったのでしょうか。

学習の見通しをもとう

第5編第1章の問いに対する疑問や答えの予想をポートフォリオに書きこみ、これからの学習を見通しましょう。

1 1 1
どんな学習をするのかな?

小学校の既習内容を
確認するとともに、この
時代の学習で何が
できるようになればよ
いかを説明します。

2 2 2
気づいたことを
出し合おう

前後の時代を代表する
資料を比較して、特
徴やちがいなどを読み
取り、これから学ぶ時
代のイメージをつか
みます。

3 3 3
気づいたことを
出し合おう

年表と世界地図を
読み取り、時代を時
間軸で概観したり、日
本と世界とのつなが
りを空間軸で確認し
たりします。

4 4 4
第○編(章)の
問いを立てよう

②、③の活動を通して
出てきた意見や疑問
を踏まえて、編(章)
や節で追究していく
問いを立てます。

5 5 5
学習の
見通しをもとう

編(章)の問いに対
する疑問や答えの予
想をポートフォリオ
に書きこみ、これか
らの学習を見通し
ます。

生徒は原始・古代～現代までの各時代でこうした学習を繰り返していきます。

資料の活用や、話し合いなどの活動から、深く学んでいけそうですね。

注目
見方・考え方を働かせる

「トライ」で資料を読み取る一連の活動では、見方・考え方を働かせた着目点を示して、生徒の活動を支援します。

注目
ポートフォリオ

学習の見通しとふり返りの活動に役立つポートフォリオのデータを教科書QRコンテンツとしてご用意しています。

評価
指導と評価の一体化
主体的に学習に取り組む態度

⑤の活動を行い、単元の学習後に改めて自分の考えを書きこむことで、生徒が学習の見通しを立て、学習後に自分の考えの変容をふり返ったり、教師の授業改善につなげたりできるようにしました。主体的に学習に取り組む態度の評価もできます。

授業や生徒の思考の流れを重視した構成

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、「編(章)の問い」や「節の問い」に答えるための手がかりとなるように工夫しています。

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

1 導入資料

本文ページの導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2

学習課題

本文ページで何を学んでいくのかを示しています。この課題を考えながら、学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる

歴史 +α

見開きの学習内容を掘り下げて、歴史を楽しく学び、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。

注目

第○節の問い

節のまとめりで追究する問いを1時間の学習でも意識しながら取り組めるよう示しています。

見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

二次元コード

読み込むことでその見開きにある教科書QRコンテンツを参照することができます。見開きタイトルとセットで示しています。▶本冊子P.16参照

資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。

注目



対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を示しています。

小年表

この見開きのできごとが、いつ、どのような順番で起こったのかを確認できます。

3

本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

4

確認 表現

学習課題に対応し、本文ページの学習を確かにする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

1時間の学習をふり返る

評価 指導と評価の一体化

知識・技能、思考・判断・表現

「確認」は知識・技能、「表現」は思考・判断・表現に対応しており、評価に活用していただくこともできます。



1 列強の動向とアジア -条約改正を成功させよ-

学習課題 なぜ、日本はこの時期に条約改正を実現することができたのでしょうか。

見方・考え方 つながり

日本が条約改正に成功した時期と、東アジアをめぐる列強の動きに着目しよう。

基本用語 列強

資本主義の発展に伴って、政治的・経済的・軍事的に強国となった国で、他の国や地域を支配したり、植民地として支配したりした、主に欧米の大国をいいます。

ドイツ帝国は1911年、イタリア王国は1861年と、国家形成はイギリスやフランスより遅れましたが、ドイツは後発の工業国として台頭し、イタリアは19世紀末には植民地獲得に乗り出しました。

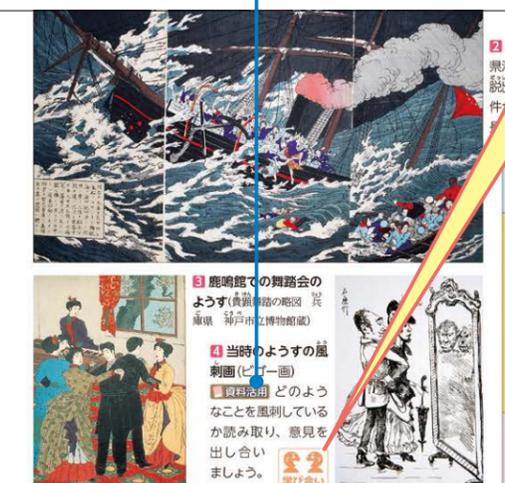
諸外国は、ドイツの台頭に反対する理由として、日本の台頭に不安を感じました。

アジアとアフリカの植民地

19世紀後半には、イギリスだけでなくフランス・ドイツ・アメリカでも産業が急速に発展しました。これらの国々では、少数の大企業や大銀行が国の経済を支配しました。また原料や製品の市場を海外に求め、鉄道・鉱山・工場を設けて住民を安い賃金で働かせ、多くの利益を得ようとしてきました。これらの国々にロシアを加えた列強は、植民地を求めてアジアやアフリカへ軍事的な侵略を重ね、相互に対立していきました。このような動きを帝国主義といいます。

条約改正の実現

日本は、近代国家として列強とも対等な地位を得るため、幕末に列強と結んだ不平等条約の改正に積極的に取り組んでいきました。1878(明治11)年、アメリカが最初に条約改正に応じましたが、日本が近代国家として立ち上がったことを理由にイギリスなどが反対したため、実現しませんでした。1880年代には、鹿鳴館を建てて、外国人を招いた舞踏会を開くなどの欧化政策を進めました。欧米をモデルと



した法律を整備し、さらには裁判官に外国人を採用するといった方法で、相手国の同意を取りつけようとした。しかし、国民の反対によって実現しませんでした。

やがて日本が立憲制国家の体制を整えると、イギリスがロシアの南下政策に対抗するうえからも、日本との交渉に応じました。1894年、陸奥宗光外相のもとで条約改正に成功し、治外法権が撤廃され関税自主権も一部認められました。治外法権は、その他の国も日清戦争後に撤廃されました。経済発展に必要な関税自主権の完全な回復は、日露戦争後の1911年、小村寿太郎外相によって実現しました。

朝鮮をめぐる東アジア情勢

日朝修好条約を結んだ朝鮮は、1880年代に入ると、日本をモデルに開化政策へと転換しました。しかし、国内にはこれに反対する勢力も強く、さらに日本と清が政治に干渉したこともあって、朝鮮の政情は不安定でした。

この間日本は、影響力を強めつつあった清に対抗するため、軍備の増強を進めていきました。さらに、ロシアの極東進出に対する不安が高まると、日本も朝鮮に進出しなければ日本の安全は守れないという意見が強まりました。

年	出来事
1858	安政の五ヶ条(日米和親条約)
1860	日清和親条約
1862	日米和親条約(改定)
1868	大日本帝国憲法公布
1894	日清戦争(〜95)
1904	日露戦争(〜05)
1886	鹿鳴館完成
1896	ノルマントン号事件
1889	大日本帝国憲法公布
1894	日清戦争(〜95)
1904	日露戦争(〜05)

条約改正への主なあゆみ

連携コーナー

主に小学校の学習や地理・公民とのつながりを示しています。

時代・世紀のスケール

学習している時代や世紀を、前後の時代も含めて常に確認できます。

問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ

まとめ・ふり返りページでは、習得した知識を確認した後、「編(章)の問い」に答え、「時代の特色」を考える活動を行います。また、ポートフォリオを用いて学習をふり返ることで、学びの自己調整ができるようになっています。

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

評価 指導と評価の一体化 観点ごとに活動を整理

まとめ・ふり返りページでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」それぞれの評価の観点に沿って活動を整理しています。

●第2～6編の各編(章)の「知識」の問い

いつ何があった? では年表を、どこで何があった? では地図を確認しながら、できごとなどを穴埋め形式の問いに答える形に統一しています。

注目! 年表と地図の連携

どこで何があった? の地図を使った穴埋め問題は、上の年表のできごとから解答を選択させることで、この時代で学んだことを時間軸と空間軸の両面で確認することができます。

第5編 第1章 近代(前半) 近代(前半) ってどんな時代?

まとめ・ふり返り 章の学習を確認し、「近代(前半)」の特色をつかもう!

第5編 1章の問い 大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているでしょうか?

近代(前半) いつ、どこで、何があった?

いつ何があった? 年表の①～④の□にあてはまる語句を次から選びましょう。あてはまる語句がないときは、学習したことを確認してあてはめましょう。

【日米修好通商 明治維新 日英 韓国 関税自主権 重 軽 大塩平八郎】

年代	1700	1800	1841	1854	1868	1889	1894	1904	1911年	
時代	江戸時代				明治時代					
政治					大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	
経済					大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	
社会					大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	
文化					大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	
世界の動向					大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	大日本帝国憲法の公布	

どこで何があった? 左の世界地図の①～④に入るものを、年表の①～④から選んで、世界の動きと近代の日本とのかかわりを確かめましょう。また、⑤～⑥に入るものを、年表の⑤～⑥から選んで、近代の周辺諸国との関係などを確かめましょう。

近代(前半) の学習をふり返ろう

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

注目! 問いの構造を生かす

「編(章)の問い」に答えるにあたって、これまで考えてきた「節の問いの答え」をもとにすることや、類型を示すことで、生徒が取り組みやすくしています。

注目! 「見方・考え方」の活用

時代の特色を考察する際に、「比較」「推移」「つながり」といった適切な「見方・考え方」を働かせる活動を提案しています。

注目! 思考ツールの提案

第3～6編では、時代の特色を考える活動に、様々な思考ツールを活用し、収集した情報のまとめや、それをもとにした考察の助けになるようになっています。

▶本冊子P.19参照

また、思考ツールを端末上で操作していただけるコンテンツをWebサイトで公開しています。

サンプルはこちら

生徒が学習のふり返りをするだけでなく、教師はどのように評価をすればよいか、わかりやすい構成になっています。



1 知識の確認

単元で学習した内容について、年表や地図を活用しながら知識を整理するとともに、知識を定着させることができます。

知識を評価する

2 「編(章)の問い」に答える活動

各時代のまとめとして、まず、各「節の問い」について考えたことをもとに、「編(章)の問い」の答えをまとめる活動に取り組むことができます。

思考・判断・表現を評価する

3 「時代の特色」を考える活動

さらに、「時代の特色」を考える活動では、思考ツールの提案や、いくつかのステップに分けた活動を提示することで、活動の流れが見えやすくなっています。

思考・判断・表現を評価する

4 学習のふり返り

最後に単元の学習をふり返る活動を設定しています。自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができます。

主体的に学習に取り組む態度を評価する

見方・考え方を働かせた学習を実現する工夫

第1編では、「**歴史的な見方・考え方**」とは何かを、その活用の仕方とともにわかりやすく解説しています。第2編以降の学習では、「歴史的な見方・考え方」を問いの解決の道しるべとしながら学習を進める**一貫した構成**になっています。

歴史学習のはじめに「歴史的な見方・考え方」を丁寧に

歴史学習の導入部にあたる第1編「私たちと歴史」第1節「歴史のとらえ方」では、**小学校で学んだヒト・モノ・コトを生かした活動**を通じて、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習の仕方を学ぶことができます。

注目! **活動を通して「歴史的な見方・考え方」を学ぶ**

教科書の紙面上部では、「歴史的な見方・考え方」を体験的に学ぶことができる活動「**トライ**」を提案しています。



ゲームをはじめとする活動を通して、生徒が興味・関心をもちながら「歴史的な見方・考え方」を学ぶことができるような紙面にしました。

注目! **「歴史的な見方・考え方」をわかりやすく**

「歴史的な見方・考え方」を、「時系列」「推移」「比較」「つながり」の4つの視点や方法に整理して丁寧に解説しています。

① トライ 歴史的な見方・考え方を使ってほかの人物や文化財、できごととの関係を考えよう

STEP 1 P.8~9のゲームで使ったカードにえがかれた人物や文化財、できごとと関係があると思うカードを採りましょう。その際、右の例のふき出しに示されたような視点に着目すると、つながれるカードは変わるか試してみましょう。

うら

1378年 足利義満が室町に幕府を移す

1397年 足利義満が金閣を建てる

1994年 世界遺産に

金閣はいつの時代に建てられたのかな。

ほかのカードのおもて

時系列 **おもて** **推移** **引きついでいる部分はどこかな。**

ほかのカードのおもて

比較

銀閣との共通点やちがいはあるかな。

つながり

金閣はどうしてつくられたのかな。

ほかのカードのおもて

STEP 2 **STEP 1** で考えたことをもとに、自分が持っているカードに示された人物や文化財、できごとについて、誰かに分かれて説明し合ひましょう。また、その人物や文化財、できごとがどのような特色をもっているか自分なりの考えを発表しましょう。

スキル UP **相手に伝える説明のしかた**

自分の考えを説明するときは、どのような説明をすれば、聞いている人が理解しやすいのか、考えるようにしましょう。何を言いたいのか、ポイントを最初に説明して、気づいたことだけでなく、その理由などを付け加えて話しましょう。

私は、金閣について考えてみました。金閣は室町幕府3代将軍足利義満が、出家した後、別荘として1397年に建てました。一番下は寝殿造、一番上は禅宗様という建築様式が用いられています。公家と武家の文化が組み合わされているのが特色だと思いました。

まどかさんは、歴史に関わる人物・文化財・できごとのうち、文化財について考えていますね。人物を取り上げた人はいますか。

私は、源頼朝について考えてみました。1180年に源平の内乱が起こり、1185年に源氏が平氏をほろぼしました。1192年に頼朝は、武士の総大将として征夷大将軍に任命された。こうして鎌倉幕府が成立しました。頼朝は、権力をにぎっただけではなく、朝廷の貴族とはちがう新しい政治を始めた点で時代を大きく変えた人物であるといえると思います。

② 「歴史的な見方・考え方」とは?

学習課題 歴史事象(人物・文化財・できごと)の関連や特色をとらえるには、どうしたらよいのでしょうか。

歴史的な見方・考え方 この教科書では、時系列・推移・比較・つながりといった四つの視点や方法を使って学習を進めています。これらは、「歴史的な見方・考え方」とよばれるものです。歴史を考察し、理解するための手立ての一つとして、活用していきましょう。

時系列

歴史には時間の流れがあります。それぞれのできごとが、どの時期にどんな順序で起こったかに着目して「時系列」でとらえることは、歴史学習の基本として大切なことです。

いつの人物/文化財かな。

推移

ものごとは、時とともに移り変わっていきます。この移り変わりのことを「推移」といいます。推移に着目すると、ものごとがどのように変化したか、あるいは変わることなく継続したのかなどに気づくことができます。

どのように展開、変化、継続していったのかな。

比較

二つ以上のものを比べることを「比較」といいます。ものごとどうしを比較して、たがいのちがいや似ている点に着目すると、それぞれの特色を明らかにすることができます。

異なる点、共通点、特色は何か。

つながり

歴史上のできごとは、たがいにつながり合っています。「つながり」に着目することで、あるできごとの背景や原因、結果や影響などを考えていくことができます。また、現在の「つながり」に着目すると、過去の歴史上のできごとと現代の私たちや生活のかかわりに気づくことができます。

どのような影響をおよぼしたかな。

P.10-11

② 「歴史的な見方・考え方」とは?

中学校の歴史学習を始めよう 歴史の学習の目的は、昔のできごとを覚えるだけではありません。私たちの先人が、どのようにあゆんできたのか、日本の歴史の大きな流れを理解し、説明できるようにしましょう。そのためにも、日本の歴史を世界の歴史と関連づけることや、さまざまな角度から疑問をもつようすることが大切です。地図帳や統計などの資料も有効に活用しながら、学習に取り組んでいきましょう。

各時代の学習で一貫した「見方・考え方」の活用

第2~6編の通史学習では、導入ページ、本文ページ、まとめ・ふり返しページのそれぞれで働かせる主な「歴史的な見方・考え方」の例を示しています。各時代で「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習を繰り返すことで、生徒の主体的・対話的で深い学びの支援を図りました。

導入ページ

トライ 年表から「近代(前半)」という時代を見通そう

見方・考え方 時系列 推移

年表を読み取り、話し合ひましょう。

- ・小学校で学んだ人物は、いつぐらいに登場しているか。
- ・政治、社会、外交、文化の面で、いつ、どのようなことが起こっているか。
- ・世界ではどのようなことが起こっているか。

P.156
第5編第1章 学習のはじめに「トライ」

本文ページ

学習課題 なぜ、日本はこの時期に条約改正を実現することができたのでしょうか。

見方・考え方 つながり

日本が条約改正に成功した時期と、東アジアをめぐる列強の動きに着目しましょう。

P.196
第5編第1章第5節 ①列強の動向とアジア「学習課題」と「見方・考え方」

まとめ・ふり返しページ

「近代(前半)」の特色をさぐる

「近代(前半)」にはどのような特色があるか考えましよう。

見方・考え方 つながり

P.213
第5編第1章 まとめとふり返し「近代(前半)」の特色をさぐる

教科書QRコンテンツ3つの柱

見開きタイトルの横に掲載している二次元コードを読み取ると、その見開きにあるコンテンツの一覧ページが開きます。コンテンツがある箇所には紙面上に「タブレットマーク」を配置して、どこにどのようなコンテンツがあるのかを示しています。



合計 **437個** のコンテンツをご用意しています。



教科書QRコンテンツ一覧

種別	数	種別	数	種別	数
イントロダクションムービー	22	確認小テスト	118	ポートフォリオ	34
スキルUPの解説動画	4	外部リンク	165	思考ツール解説	6
動画	42	(うちNHK for School)	(113)	関連画像	24
年表	14	ワークシート	5	絵図解説・スライドショー	3

内容のまとまりでの授業を支援したり、個別最適な学びを実現したりするために、教科書全体を通して「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の3つのコンテンツを系統的に設定しました。家庭学習でも利用でき、生徒の自学自習を支援します。

1 ポートフォリオ

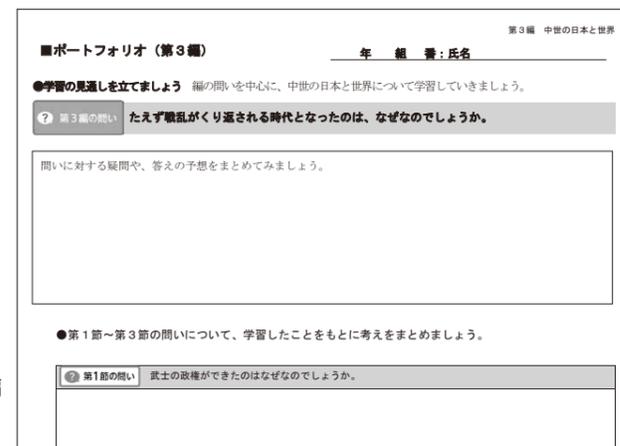
導入ページ 本文ページ まとめ・ふり振り返りページ

生徒の学習履歴を記録するコンテンツです。生徒の考えの変容を見取ることができるため、**学びの自己調整に役立ちます**。また、「**主体的に学習に取り組む態度**」の評価に活用することもできます。**Word、PDF、Googleドキュメントの3種類のデータをご用意しています**。印刷して紙で運用していただくことも、タブレット端末上で運用していただくこともできます。

ダウンロードはこちら!



第3編 中世の日本と世界 (P.67)



2 イントロダクションムービー

本文ページ

1~2分程度の長さで、**第2~6編の節の最初の本文ページに設定している、教科書完全準拠のオリジナル動画コンテンツ**です。**前の節で学習したことを確認したり、「節の問い」を解決するための学習の見通しをもったりする際に役立ちます**。

動画の再生はこちら!



第3編第2節 鎌倉幕府の成立 (P.72)



3 確認小テスト

本文ページ

主に**重要語句**について**4択問題で確認できるコンテンツ**です。本文ページに設定しており、知識の定着に役立ちます。節末の本文ページに設定している確認小テストは節全体の問いをランダムに出題します。テスト前の確認にも活用できます。

小テストの体験はこちら!



第3編第2節 ①鎌倉幕府の政治 (P.72-73)



歴史の学習をサポートする様々なコンテンツ

よりビジュアルにスキルUP — 「情報を読み取る」技能の育成

教科書に掲載した「スキルUP」のうち、「情報を読み取る」技能について視覚的によりわかりやすく解説した動画です。動画では、教科書で示されている解説を実際に取り方の例などを交えてより詳細に説明し、情報活用能力の育成を図りました。

スキルUP 絵巻物の読み取り方 P.65

絵巻物とは、内容を述べた詞書の部分と、それに対応する絵が原則として交互に配置された巻物です。絵巻物から、当時の衣食住のようすのほか、町や自然のようすを知ることができます。絵巻物のなかでは、時間は基本的に右から左に流れます。どのような場面がえがかれているかに着目して読み取りましょう。

注目! 教科書完全準拠の解説動画

教科書の「スキルUP」に沿った解説で、無理なく学習を進められます。生徒の自学自習としても活用することができます。

『男衾三郎絵詞』縦29.3cm×長さ1260.9cm 制作：鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵

それに対応する絵が原則として交互に配置された巻物です。

「情報を読み取る」技能にかかわる「スキルUP」

- 年表の読み取り方 P.9
- 歴史地図の読み取り方 P.40
- 系図の読み取り方 P.43
- 絵巻物の読み取り方 P.65

大きな時代の流れのなかで事象をとらえる — 巻末年表の活用

第1編第1節と第2～6編の導入ページ「学習のはじめに」に、教科書の巻末年表をスクロール操作で一覧することができるコンテンツをご用意しました。

QRコード

基礎的・基本的な知識及び技能の習得や、学習内容のまとめなどに役立つ様々なコンテンツをご用意しています。また、学習内容に関する動画やWebサイトへのリンクも設定しており、生徒が自主的に学習を深めることができます。

思考ツールの使い方を身につける—スムーズなまとめ活動への支援

第1編第1節と第3～6編の「まとめとふり返し」には、教科書に掲載している思考ツールの使い方を解説したコンテンツがあります。思考ツールをどのように活用すればいいのか、生徒が手元で確認しながらまとめの活動を進めることができます。

「近代(後半)」の特色をさぐる 日本で起こった「変化」から、「近代(後半)」にはどのような特色があるかをさぐる P.257

STEP 1 第5編第2章で主に学習した1910年代から1940年代の日本の「変化」についてXチャートに整理し、変化が起こった理由を話し合います。

まとめとふり返し

Xチャートを使ってみよう 多面的にみる 分類する 焦点化する

明らかにしたいことがらについて、さまざまな観点から関連する情報を整理することは、自分の意見をまとめることに役立ちます。Xチャートは四つの観点を設定して多面的・多角的に考えることができます。

まず、①明らかにすることがらについて考える観点を決めます。②それぞれの観点について、できるだけ多くの情報を書き出します。③それぞれの観点から書き出したことをもとに、観点の特徴について考え、記入します。

完成したチャートから新しく気づいたことをもとに、明らかにすることがらへの考えをつくってみましょう。

● 解説している思考ツール

- Yチャート P.16
- マトリクス P.103
- ロジックツリー P.153
- ツールミンモデル P.213
- Xチャート P.257
- ダイヤモンドランキング P.291

豊富な動画などの多種多様なコンテンツ

教科書の内容に関連する「NHK for School」の動画へのリンクや、教科書紙面には掲載していない追加資料やオリジナル動画、第2～5編第2章にある「チャレンジ歴史」に対応したワークシートなど、様々なコンテンツをご用意しています。

傘や提灯を修理する職人

紙をくり返し使う子ども

ごみすて場

他にも史跡・文化財の関係職員の方へのインタビュー動画や当時の映像資料など、歴史ならではの動画もあります。

→本冊子P.27参照

全てを詳表示

P.141 江戸の町のようす(想像図)のシミュレーション(絵図解説)

よりよい未来の創造にかかわる教材の充実

生徒の確かな成長と人間尊重・平和な社会の実現を願い、歴史の学びが未来を担う生徒たちの糧となり、自らの将来や、よりよい未来の創造に活かすことができることをめざしました。

巻頭・中学生へのメッセージ

歴史とは何か、歴史を学ぶことでどのようなことがわかるのか、受け継いだ「歴史の遺産」をよりよい未来のためにどのように活用していくのかを主題とした、新しい時代を担っていく中学生

に宛てた文章を、「歴史を学ぶにあたって」(巻頭2)、「歴史を学んで」(P.300)に掲載しました。

巻末・中学生へのメッセージ

「歴史との対話」を未来に活かす

歴史学習の最後に、よりよい未来をつくるために何が大切か、現代の課題について、歴史を踏まえて考えることができるようにしました。

- テーマ別さくいん 292
- 課題例1 災害の歴史に学ぶ 294
- 課題例2 政治参加の歴史に学ぶ 296
- 課題例3 世界平和への取り組みに学ぶ 298



浜口梧陵

未来を考える



チャレンジ歴史 5テーマ

資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験します。

- 考古学に挑戦！ よろいを着た人物のなぞを解こう 38
- 承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう 74
- 地図から、江戸時代の日本人が知っていた世界の姿を読み取ろう 150
- 経済発展か、環境保全か、足尾銅毒事件を通して考えよう 210
- 戦時体制の言論統制とその影響を考えよう 252



歴史を掘り下げる 7テーマ

歴史の学習をはば広く豊かにするテーマを取り上げ、わかりやすく解説しています。

- 日本の神話 51
- 文化財を守り伝える仕事 58
- 変わる土地制度ー班田制から荘園公領制へー 85
- 今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成 132
- 新しい世の中をめざした人々 174
- 水平社の創立とさまざまな人権運動 234
- 冷戦終結後の近隣諸国との関係 286

各時代の学習

よりよい未来のヒントとなる豊富な教材

よりよい未来を考えるにあたって、先人がどのような課題にぶつかり、その解決に向けて取り組んできたのかを知ることは大切です。各時代には、それらを学ぶことができるコラムや特設ページを設けました。

持続可能な社会をつくるために、先進国と発展途上国がともに達成すべき、2016年から2030年のあいだの「17の目標」として、SDGs (Sustainable Development Goals) があります。

持続可能な社会とは、将来の人々に負担を残さずに発展していくことができる社会のことです。



人物コラム 18名

人物のエピソードを紹介しています。

- 孔子 27
- 鑑真 48
- 行基 49
- 阿豆流為と坂上田村麻呂 53
- 菅原道真 55
- 平清盛 71
- 雪舟 96
- 千利休 119
- 徳川家康 123
- 知里幸恵 133
- ペリー 171
- 福沢諭吉 181
- 中江兆民 181
- 石井十次 208
- 新渡戸稲造 223
- 斎藤隆夫 243
- アンネ・フランク 245



先人に学ぶ 国際交流

先人に学ぶ 13テーマ

生活の向上や文化の発展、平和などに取り組んだ先人を紹介しています。

- 東大寺の再興と重源 79
- 河原者がつくり出した文化 97
- 雨森芳洲 129
- 都市に住む人々のリサイクル 141
- 天明のききんと復興 143
- 井上伝と久留米餅 145
- 労働者の環境を整えた工場経営者 159
- 近代看護と医療衛生の創始者 165
- 近代社会に日本を見つめ直す 183
- 孫文と梅屋庄吉 203
- エルトゥールル号遭難事件 209
- 日本までつながれた「命のビザ」 245
- 私たちにできること 283



SDGsマーク

ここにあげた教材のうち、SDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークをつけています。



岡倉天心

地域に学ぶ

地域に学ぶ 11テーマ

身近な地域から歴史を学ぶことのできる多様な事例を紹介しています。

- 磐井の乱(福岡県八女市) 41
- 海底から姿を現した元の軍船(長崎県松浦市) 84
- 茶の湯を支える茶釜の生産地(奈良県生駒市) 98
- ヨーロッパに知られた石見銀山(島根県大田市) 117
- 国立アイヌ民族博物館(北海道白老町) 131
- 江戸の飲料水を支えた玉川上水(東京都) 137
- 致道博物館(山形県鶴岡市) 149
- 山本作兵衛の炭坑記録画(福岡県田川市) 205
- 近代化産業遺産を訪ねる(東京都・日立市・名古屋市) 233
- 平和な島をー沖縄の基地問題ー(沖縄県) 274
- 在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(大阪市) 275



女性の女性

各時代の女性 7テーマ

各時代の女性の姿を紹介しています。

- 政治や文化での活躍 57
- 武家の社会と女性たち 77
- 商工業を担う女性たち 93
- 日本初の女子留学生と女子教育 185
- 家制度と社会運動 207
- 女性の政治参加を求めて 228
- 女性の地位向上への改革 264



紫式部

歴史+α

歴史+α 17テーマ

歴史の学習をはば広く豊かにするテーマを取り上げ、コンパクトに紹介しています。

- 古墳と信仰 37
- 日本国号と天皇号 45
- 宋と高麗 71
- 地頭を訴えた農民 77
- 朝貢と冊封 89



イスラム教徒の天文学

- イスラムの文化 108
- つながる世界と生活の変化 111
- 豊かになる人々と身分制のひきしめ 125
- ベストセラーになった日本地図 147

- 社会契約説 161
- 移民の国アメリカ 165
- 変わる社会とファッション 223
- 三・一独立運動を支持した日本人 225
- 関東大震災 231
- 日本の満州支配に反対したジャーナリスト 241
- 平和条約に調印しなかった国 271
- 核兵器廃絶と平和への願いー原水爆禁止運動ー 273



ココ＝シャネル

地域調べ

第1編第2節 身近な地域の歴史の探究

でかけよう！地域調べ 6テーマ

地域の歴史の調べ方・学び方のほか、調べたことのもめ方などを紹介しています。

- 第1編第2節 身近な地域の歴史の探究ー大阪市内を例にー 12
- 平城宮跡を歩くー奈良県奈良市ー 60
- 草戸千軒町遺跡を調べるー広島県福山市ー 100
- 城下町姫路を調べるー兵庫県姫路市ー 120
- 手宮線跡地から町の発展を探るー北海道小樽市ー 188
- 多摩地域の空襲を調べるー東京都立川市・東大和市ー 254
- 公害克服の歴史を調べるー福岡県北九州市ー 288

現代的な諸課題を考えることができる豊かな教材

持続可能な社会の実現にかかわる現代的な諸課題の歴史的背景や今日までの取り組みを学ぶとともに、生徒が自らもかかわる切実な課題としてとらえ、解決に向けて歴史を踏まえて多角的・多面的に考えることができるよう教材を充実させました。

→本冊子P.41『観点別教材一覧』参照

基本的人権

人権尊重を基本理念とし、多様性を尊重し認め合う共生社会の実現をめざす姿勢の大切さを学ぶことができました。

部落差別解消などの様々な人権運動

部落差別解消のための運動を随所で取り扱い、人権を尊重する社会の在り方について考えられるようにしています。



6 全国水平社創立大会の宣言
全国に散在する部落の人々よ、団結せよ。ここにわれわれが人間を尊敬することによって、自らを解放しようとする運動を起すことは当然である。われわれは、心から人生の熱と光を求めるものである。水平社はこうして生まれた。人の世に熱あれ、人間に光あれ。(1922年 一部要約)

5 全国水平社の演説会で差別のとたかいを訴える山田孝野次郎(1924年 大阪市)

7 西光芳吉(1895～1970) (奈良県 水平社博物館蔵) 西光芳吉が起草した水平社宣言では、被差別部落に住む人自らが、誇りをもち、解放運動に取り組むべきであると説き、「日本初の人権宣言」といわれています。



P.229

Horizontal Society's creation and various human rights movements. Includes text about the society's founding in 1922 and its goals of social equality and human rights.

P.234-235

全国水平社の創立が同時代の様々な人権運動にあたえた影響を紹介するとともに、その運動が現代社会においてどのような意味をもつとも考えられる教材を新設しました。

女性の姿

各時代の女性のコラムでは、女性たちが社会で活躍する姿や権利を求めて運動する姿を紹介しました。

P.57

→本冊子P.20参照

Column on women's roles in ancient times, mentioning figures like Empress Jitō and the 'Genji Monogatari'.

在日外国人の歴史

現在にもぎわう商店街の歴史的背景を解説し、在日韓国・朝鮮人の歴史を身近な事例から考えていけるようにしました。

History of Koreans in Japan, focusing on the 'Incheon Alley' (Incheon-dong) in Osaka and the lives of immigrants.

P.275

教育・福祉

豊かな生活をつくる基盤となる教育の普及や福祉に尽力した人々を紹介しました。

Profile of Iwano Jūshū (1865-1914), who established orphanages and contributed to education and welfare in Iwano, Gunma.

P.208

平和・命の尊さ

現代社会においてよりいっそう重要な課題となっている平和について深く学び、生徒が歴史を踏まえて平和の実現について考えることができましたようにしました。

国をこえた取り組み

平和や命の尊さについて学ぶことのできる、国をこえた先人の取り組みを紹介し、次世代へと繋げていく心を育む教材を数多く掲載しています。

Profile of Kimura Chikao (1896-1986), who worked for international peace and human rights, including his role in the 'Mission of Life'.

P.245

Historical event: Elitwulul shipwreck (1902-1992), highlighting international cooperation between Japan and Turkey.

P.209

ロシアによるウクライナ侵攻



P.281

近隣諸国との関係

課題解決に向けて確かな歴史的事実に基づいた対話を重ねることの重要性や、他国との友好に努めた先人の知恵を学ぶことができるようにしました。

国際交流

P.129

Profile of Amamiya Ryūzō (1668-1755), who facilitated international exchange between Korea and Japan.

領土をめぐる問題

日本固有の領土をめぐる問題について、領土に編入した歴史的な経緯をわかりやすく解説し、平和的な解決への基盤となるようにしました。

Map and text discussing territorial issues and international relations, including the 1855 Convention of Amami-Oshima and the 1956 Joint Declaration.

P.286-287

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得をサポート

生徒自ら主体的に学習に取り組んでほしいという願いから、その基盤となる知識及び技能の確実な習得を支援するコラム・特設ページを豊富にご用意しました。

歴史を楽しく学び、
確かな知識を身につける

本文ページの側注部分の全32箇所に配置した**基本用語**では、歴史的分野における重要な用語について、平易な言葉で解説し、歴史学習をサポートします。

基本用語 列強

資本主義の発達にともない、政治的・経済的・軍事的に強国となった国で、他の国や地域を従属させたり、植民地として支配したりした、主に欧米の大國をいいます。

P.196 基本用語 列強

人物コラムでは、各時代を生きた全18名の人物のエピソードを紹介し、幅広い視点に立って考えることができるよう工夫しています。

→本冊子P.20参照

注目
より豊富な教材を
よりわかりやすく掲載

よりよい未来の構想のヒントとなるようなテーマも取り上げ、これまでよりもさらに幅広く学ぶことができるようにしました。

歴史+αでは、歴史の学習を幅広く豊かにする全17テーマを取り上げ、コンパクトに紹介しています。

→本冊子P.20-21参照

P.147

ベストセラーになった日本地図

基本用語一覧

国家 … P.24	資本主義 … P.159
オリент … P.25	社会主義 … P.159
市民(古代) … P.28	共和政 … P.160
民主政(古代) … P.28	立憲制国家 … P.191
共和政(古代) … P.29	議院内閣制 … P.192
原始・古代 … P.36	列強 … P.196
律令 … P.40	総力戦 … P.219
皇族・貴族 … P.46	民族自決 … P.221
荘園 … P.47	権益 … P.222
中世 … P.72	委任統治 … P.222
公家・武家 … P.76	民本主義 … P.226
下剋上 … P.94	恐慌 … P.236
カトリックと プロテスタント … P.109	自由経済と 計画経済 … P.236
植民地 … P.111	ファシズム … P.237
近世 … P.115	軍部 … P.239
上方 … P.137	テロリズム(テロ) … P.281

アイヌ文化を伝えたアイヌの女性

11 知里幸恵(1903～1922)

幸恵は、言語学者の金田一京助と出会い、17歳の時、アイヌが口伝で伝えてきたユカラ(P.131)などの物語文学の記録を始めました。アイヌで初めてアイヌ語を文字にあらわし、読みやすい日本語訳をつけた幸恵の著書『アイヌ神謡集』は、アイヌ文化の豊かさを伝える作品として読みつがわれています。(北海道 知里幸恵銀のしずく記念館蔵)



P.133 アイヌ文化を伝えたアイヌの女性 知里幸恵

歴史+α
ベストセラーになった日本地図

水戸藩の地理学者の長久保赤水(1717～1801)は、出版された日本地図として初めて経線・緯線を示した地図をつくりました。伊能忠敬の地図は、幕府が公開していなかったため、庶民の多くは赤水の地図を活用しました。その地図は、赤水が亡くなったあとにも重ねて出版され、広く普及しました。



13 赤水がつくった地図(改正日本輿地路程全図 茨城県 高萩市歴史民俗資料館蔵)

社会的事象について調べ
まとめる技能を身につける

情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要となる基礎的・基本的な技能についてわかりやすく解説した**スキルUP**コーナーを随所に設けて、**情報活用能力の育成**を図りました。

情報を
収集する
技能

- 調査の全体像 … P.12
- 引用のしかた … P.13
- 聞き取り調査のしかた … P.15
- 史跡見学のしかた … P.60
- 博物館や資料館での調べ方 … P.100
- 図書館での調べ方 … P.254

スキルUP
系図の読み取り方

系図は、祖先と子孫などの関係を線で記したものです。右の系図の場合、上下線は親子関係、左右線は兄弟姉妹関係、二重線は婚姻関係をあらわします。この系図は、蘇我氏と天皇家との関係を記しています。
資料活用 聖徳太子と蘇我氏は、それぞれの天皇とどのような関係だったのか、系図から読み取りましょう。

P.43 系図の読み取り方

- 相手に伝わる説明のしかた … P.11
- プレゼンテーションソフトを活用した報告のしかた … P.16
- 歴史新聞づくりのポイント … P.101
- 年表の作り方 … P.289
- インターネットを活用した発信のしかた … P.289

情報を
まとめる
技能



P.101 歴史新聞づくりのポイント

スキルUP
聞き取り調査のしかた

地域の方やその分野の専門家の方に直接話を聞く「聞き取り調査」は、資料にはのっていない情報や、その方の経験に基づいた情報を得ることができます。
聞き取り調査を行うときには、相手のつづろなどを考え、訪問の予約をとります。聞きたい内容は事前にまとめておき、その内容を訪問前に伝えられるとよりよいでしょう。聞いた話はしっかりとメモを取り、写真を撮るときには許可を得てからにします。また、調査の後には、手紙などで忘れずにお礼を伝えましょう。



P.15 聞き取り調査のしかた

情報を
読み取る
技能

- 年表の読み取り方 … P.9
- 歴史地図の読み取り方 … P.40
- 系図の読み取り方 … P.43
- 絵巻物の読み取り方 … P.65
- ※教科書QRコンテンツは、本冊子P.18参照



P.289 年表の作り方、インターネットを活用した発信のしかた

身近な地域や世界とつながる歴史学習を提案

身近な地域の歴史的な特徴を考察するための調べ方を段階的に解説する第1編第2節「身近な地域の歴史の探究」を新設しました。また、世界とのかかわりのなかで日本の歴史をとらえたり、現代との関連を理解したりできるよう、教材の取り上げ方や配列を工夫しています。

身近な地域の歴史を調べ、考察する —地域に残る文化財や諸資料の活用

第1編第2節では、調査テーマの設定から報告・ふり返りまでの一連の流れを、大阪市の事例を取り上げながら「テーマの決定」「課題の調査」「考察とまとめ」と3見開きに分けて丁寧に解説しています。第2～6編に設定した「出かけよう！地域調べ」では、第1編第2節での学習を踏まえ、各地域の事例を紹介しています。

第1編第2節

P.12-13

①テーマを決めて調査の準備をしよう



一貫した学習スタイル

すべての「出かけよう！地域調べ」において、第1編第2節で解説した学習の進め方と連動させ、「テーマの決定」「課題の調査」「考察とまとめ」の三つのパートに分けた構成にしました。

第2～6編 でかけよう！ 地域調べ

→本冊子P.21参照

生徒自身が身近な地域を調べ、その歴史を発見できるよう、学習をサポートする教材が充実しています。



P.60-61 史跡見学に行こう 平城宮跡を歩く

世界とのつながりのなかで 日本の歴史をとらえる

第2～6編の導入ページでは、地図の読み取りを通して、同時代の世界の様子を概観し、広い視野で歴史をとらえられるようにしました。また、日本の歴史の背景となる世界の歴史を学んだうえで国内の政治や文化を学習できるよう、本文ページの配列を工夫しています。

導入ページ

P.216-217

学習のはじめに年表と地図を読み取ろう

本文ページ

日本で中央集権的な国家が目指された背景に、東アジアにおいて巨大帝国が登場したことがあることをつかめる配列となっています。

例 第2編 古代までの日本と世界

P.32-45 第2節 日本列島の人々と国家の形成

- ③ヤマト王権と渡来人
- ④東アジアの統一国家
- ⑤聖徳太子と飛鳥文化
- ⑥律令国家の成立

例 第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化

P.158-167 第1節 欧米の発展とアジアの植民地化

- ①産業革命
- ②王政から議会制へ
- ⋮

外国船が日本に接近した背景に、産業革命を成功させたヨーロッパ諸国による植民地拡大の動きがあったことをつかめる配列となっています。

P.168-173 第2節 近世から近代へ

- ①ゆらぐ幕府の支配
- ②開国
- ③江戸幕府の滅亡

世界の歴史と現代との つながりを理解する

自分自身の生活や考え、日本や世界のあり方が、なぜ今のようになっているのかを理解できるようにするため、今につながる世界の歴史を随所で解説しています。

P.28-29 ④ギリシャ・ローマの文明

P.161 社会契約説

主体的・対話的で深い学びを実現する教材の充実

第2～5編第2章の各編(章)に設定した「チャレンジ歴史」では、資料をもとに歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験し、発達の段階に応じた多様な資質・能力を育むことができるようにしました。

チャレンジ歴史
考古学に挑戦！
よろいを着た人物のなぞを解こう

2012(平成24)年11月、群馬県渋川市の榛名山の山ろくの扇状地にある金井東裏遺跡から、約1500年前の古墳時代の男性の骨が、よろいを着た状態で発見されました。この人物はどのような人だったのでしょうか。

資料1 発掘された骨



資料2 金井東裏遺跡の位置



資料3 金井東裏遺跡の発掘状況



▼ 学習の流れ

STEP 1
よろいを着た人物はどのような人なんでしょうか。

資料4 よろいを着た人物についてわかったこと

- 男性の特徴
 - ・40代、身長164cm、面長の顔▶1
 - ・よろいは、朝鮮半島から伝わったたいへん貴重な最新のものだった。
- 発掘されたときの状況
 - ・榛名山の方を向いて、両ひざをつき、顔の下にかぶとを置いてうつ伏せにたおれていた。▶2
 - ・体の近くから、鉄の矢じりや、儀式に用いる飾りの多い矛が発見された。

STEP 2
近くから発見された女性は、どのような人物だったのでしょうか。

資料5 女性についてわかったこと

- 女性の特徴
 - ・30代、身長144cm、あごが張り鼻の幅が広い。▶3
 - ・出産した経験がある。
- 発掘されたときの状況
 - ・頭を榛名山とは反対の東側に向けて、うつ伏せにたおれていた。
 - ・首元からガラス小玉と管玉が発見され、首飾りをしていたと考えられる。▶4,5

STEP 3
遺跡には、同じ方に向かう多くの人の足あとがありました。どのような人たちののでしょうか。

資料6 発掘された人々の足あと

- ・よろいを着た人物の発見地の近くの道から、子どもや大人の足あとがたくさん見つかった。
- ・榛名山に背を向けて東に向かっている。
- ・ほとんどがはだいで、ふみしめるように歩いているので、人を背負っていたか、荷物を持っていたと考えられる。

STEP 4
よろいを着た人物のなぞを解きましょう。

この人物は、何をしていたのでしょうか。また、どのような立場の人物だったと考えられるか、みんなで意見を出し合ってみましょう。

対話的な学びを促す活動

学び合いマークによってグループでの話し合いを促し、意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができました。

学び合い

主体的な学びを促す課題設定

生徒が興味・関心をもって主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるよう工夫しています。

学習の流れはSTEPを踏んで段階的に取り組むことができるように構成されており、生徒の課題解決をサポートします。



P.38-39

考古学に挑戦！
よろいを着た人物のなぞを解こう

38

39

注目
教科書QRコンテンツで学びをサポート

すべての「チャレンジ歴史」で、それぞれの見開きの活動に対応したワークシートを教科書QRコンテンツとして準備しています。

生徒の個人での取り組みや学級での対話的な学習を支援しています。



第2編 古代までの日本と世界 チャレンジ歴史 教科書 P.38-39

考古学に挑戦！ よろいを着た人物のなぞを解こう

学習日 年 月 日
年 組 番：氏名

1 よろいを着た人物について、資料1～4を読んでわかったことをまとめましょう。

2 近くから発見された女性について、資料5を読んでわかったことをまとめましょう。

「チャレンジ歴史」一覧

第2編	考古学に挑戦！よろいを着た人物のなぞを解こう… P.38-39	つながり
第3編	承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう… P.74-75	推移
第4編	地図から、江戸時代の日本人が知っていた世界の姿を読み取ろう… P.150-151	比較
第5編第1章	経済発展か、環境保全か、足尾鋳毒事件を通して考えよう… P.210-211	つながり
第5編第2章	戦時体制の言論統制とその影響を考えよう… P.252-253	つながり

深い学びを促す教材

「歴史的な見方・考え方」を働かせて時代の転換を考えたり、当時の人々と同様に選択・判断をしたりするなど、深い学びを実現できるようにしました。

ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎ミン」「ヒラギノUD角ゴF」(株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

ヒラギノUD角ゴF

UD黎ミン

●「図版番号」について
図版には番号を付し、授業の際に使いやすくなりました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、本文と図版を関連させて読み取ることができます。よりよく理解できるようにしています。

●ルビについて
小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、重要句句には、すべてルビをつけました。ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

「単元カラー」と時代・世紀のスケール

第2編	古代までの日本と世界
第3編	中世の日本と世界
第4編	近世の日本と世界
第5編 第1・2章	近代の日本と世界
第6編	現代の日本と世界

古代から現代までの各単元(時代)で「単元カラー」を設定し、デザインを統一しています。また、本文ページの右端に時代・世紀のスケールを設け、現在学習している時代や世紀を常に確認できるようにしています。

教科書の軽量化への取り組み

生徒の持ち運びの負担を軽減するために、良質で軽い紙を採用しています。それでいて十分な強度を持ち、裏写りが少なくなるよう工夫しています。また、歴史的分野の学習の構造化と焦点化の観点から、取り扱う事象の精選を図って、現行教科書に比べて12ページ削減し、軽量化につなげました。



カラーユニバーサルデザインへの対応

特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)に校閲をお願いし、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮しました。

CUDへの対応の例

帯グラフや円グラフは細い黒線で区切り、色に頼らない読み取りを可能にしています。

資料5 日本の輸出品に占める銅の割合

折れ線の色だけでなく線種を変更し、違いを明確にしています。

例：1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション

教科書の中で使用している色は、色覚に特性のある人でも判別が可能なよう配慮しています。

凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。

学習者用デジタル教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

学習者用デジタル教科書には、総ルビ表示やリフロー表示、色反転、機械音声読み上げなど生徒一人一人の状況に応じて利用できる様々な機能を搭載しています。

詳しくは本冊子P.44をご覧ください。

拡大教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

22pt/B5判

26pt/A4判

3分野で統一した構成・デザイン

学びやすく教えやすい教科書づくりを意図して、単元や紙面の構成を3分野で統一しました。

導入ページ

地理 P.144-145

第3編第2章の問い
日本にはどのような特色があり、それらの特色からどのように地域区分できるのでしょうか。

歴史 P.154-157

第5編1章の問い
大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているのでしょうか。

公民 P.38-39

第2編第1章の問い
私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

単元を貫く問い 導入ページで活動を通して単元を貫く問いを立て、学習の見通しをもてるようにしています。
→本冊子P.6-9

本文ページ

地理 P.152-153

4 災害にそなえるために
自然災害から地域や人の生活を支えるために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか。

歴史 P.196-197

1 列強の動向とアジア
なぜ日本は列強に侵略されたのでしょうか。

公民 P.40-41

1 私たちにとっての政治と民主主義
なぜ政治は民主主義によって行われるべきなのでしょうか。

学習課題と見方・考え方 毎時間で追究する問いを設定するとともに、学習課題の解決に向けて手がかりになる見方・考え方を設定しています。
→本冊子P.10-11

まとめ・ふり振り返りページ

地理 P.166-167

知識の確認と問いの解決、学習のふり振り返り

歴史 P.212-213

公民 P.80-81

左ページで知識を確認し、右ページで単元を貫く問いを解決して、最後に学習をふり振り返ります。
→本冊子P.12-13

小学校社会科、地理的分野・公民的分野との連携

小学校での既習事項や他分野の内容を多数掲載することで、相互に連携・関連させながら学習できるようにしました。

小学校社会科との連携

公民的分野の学習に向けて
政治単元 現在の国や地方公共団体の災害に対する取り組みを学びましょう。
国際単元 環境問題や自然災害に対する国際協力の重要性が高まるなか、日本の国際社会への貢献や果たしている役割を学びましょう。
P.294
災害対策について政治の動きの学習などを見通す

地理的分野との連携

地理的分野との連携
P.120-121
古地図の読み取りから地域の歴史を考える

小学校社会科との連携
小学校6年 学習した人物：聖徳太子・小野妹子 P.43

地理的分野・公民的分野との連携
地理 世界の気候区分 地図 P.25
公民 日本国憲法の基本的な考え方は、さらに公民的分野でも学習しましょう。 P.265

小学校社会科でどんな内容を学んできたのか、他分野でどんな内容を学ぶのかをわかりやすく示す**連携コーナー**を、脚注に設定しました。

地理的分野・公民的分野に関連した教科書QRコンテンツも準備しています。

P.25 教科書QRコンテンツ 世界の気候区分

他教科との関連

他教科と関連のある教材を多数掲載しました。地域や生徒の実態に合ったカリキュラム編成に役立ちます。

特別の教科 道徳との関連

先人に学ぶ 日本までつながれた「命のビザ」
1940年7月、ドイツに占領されたポーランドからのリトアニアの日本領事。彼らは、シベリアかしようとして、それに必死で求めたのです。 交際員 杉原千恵子。杉原が発給したビザを厳格に再審査せ

P.245 日本までつながれた「命のビザ」

美術との関連

神話の三美神の比較
古代ギリシャ・ローマの三美神(左)は、中世には神に祈る姿としてえがかれた(中央)が、ルネサンス期になると、もとの姿が復活した(右)ことに注目しよう。

でもこと 11回千手観音の造像が始まる(991)

基本用語 カトリックとプロテスタント
宗教に従う人々はカトリック、宗教改革の権威を否定した人々はプロテスタント(創始する人々)とよばれます。

P.109 神話の三美神の比較

近畿地方

- 三重県** 勝手神社の神事踊(伊賀市、P.98)
おかげ参り(伊勢市、表紙・P.141)
本居宣長と『古事記伝』(松阪市、P.147)
- 滋賀県** 文化的景観—近江八幡市の水郷(近江八幡市、巻末1)
惣村の四足門(長浜市、P.93)
雨森芳洲(長浜市、P.129)
井伊直弼(彦根市、P.172)
- 京都府** 平安京・平安宮(京都市、P.19・52)
平等院鳳凰堂・阿弥陀如来像(宇治市、P.57)
祇園祭(京都市、表紙・P.98・295) **写真A**
金閣・銀閣(京都市、P.97)
室町時代の京都の様子(京都市、P.87・104)
妙喜庵待庵(大山崎町、P.119)
- 大阪府** 日本万国博覧会(吹田市、P.7)
適々斎塾、緒方洪庵(大阪市、P.12-17)
大仙(仁徳天皇陵)古墳(堺市、表紙・P.36)
古市古墳群(羽曳野市・藤井寺市、P.36)
千利休(堺市、P.119)
人形浄瑠璃文楽(大阪市、P.138)
与謝野晶子(堺市、P.201)
在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(大阪市、P.275)
狭山池(大阪狭山市、P.295)
- 兵庫県** 姫路城・城下町(姫路市、P.119-121・巻末年表※6)
生野銀山(朝来市、P.134)
赤穂の塩田(赤穂市、P.135)
斎藤隆夫(豊岡市、P.243)
手塚治虫(宝塚市、P.279)
- 奈良県** 唐古・鍵遺跡の弥生土器(田原本町、P.34)
藤原京(橿原市、P.45)
東大寺の大仏(奈良市、巻頭1・P.49)
平城京・平城宮跡(奈良市・大和郡山市、P.46・60-61)
薬師寺東塔の保存修理(奈良市、P.59)
高山茶釜(生駒市、P.98) **写真B**
西光万吉(御所市、P.229・235)
全国水平社(御所市、P.229・234-235)
- 和歌山県** 阿氏河荘の農民の訴え状(有田川町、P.77)
中世の荘園、柿田荘(かつらぎ町、P.85)
エルトゥールル号遭難事件(串本町、P.209)
浜口梧陵と広村堤防(広川町、P.295)



12 茶道体験のようす

中国・四国地方

- 島根県** 佐陀神能(松江市、P.51)
石見銀山(大田市、P.117・巻末年表※6)
- 岡山県** 唐子踊(瀬戸内市、P.128)
閑谷学校(備前市、P.149)
渋染一揆(P.174)
石井十次(P.208)
伝統的建造物群—吹屋の町なみ(高梁市、巻末1)
- 広島県** 草戸千軒町遺跡、鞆の浦、福禅寺対潮楼(福山市、P.100-101・129) **写真E**
ききんにそなえて穀物を保存した倉(安芸太田町、P.143)
原爆ドーム(広島市、P.250-251・300・巻末年表※7)
- 山口県** 雪舟(山口市、P.96)
高杉晋作(萩市、P.173・175)
久原房之助(萩市、P.233)
- 香川県** 笠置シヅ子(東かがわ市、P.267)
- 高知県** 坂本龍馬(高知市、P.173・175)
広井勇(佐川町、P.189)
浜口雄幸(高知市、P.239)



現在も残る灯の塔



11 復興した大船鉾(2022年、京都府、船鉾山鉾連合会)

北海道地方

- 北海道** 志苔館跡(函館市、P.91)
五稜郭(函館市、P.173) **写真F**
国立アイヌ民族博物館(白老町、P.131)
小樽市の近代の遺産(小樽市、P.188-189)
知里幸恵(登別市、P.133)
アイヌ文化(P.90・131・133・285)



7 今も残る五稜郭(北海道函館市)

東北地方

- 青森県** 三内丸山遺跡(青森市、P.32・巻末年表※2)
江戸時代と現在の弘前ねぶた(弘前市、P.141)
- 岩手県** 中尊寺金色堂(平泉町、P.69・巻末年表※3)
石川啄木(盛岡市、P.202)
- 宮城県** 女川いのちの石碑(女川町、P.283)
- 山形県** 致道館・致道博物館(鶴岡市、P.149) **写真G**
- 福島県** 山川捨松(会津若松市、P.185)
野口英世(猪苗代町、P.208)

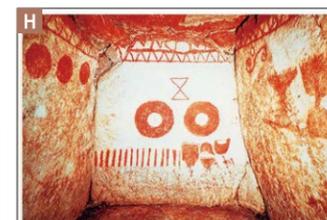


関東地方

- 茨城県** 虎塚古墳石室の壁画(ひたちなか市、P.37) **写真H**
徳川光圀と『大日本史』(水戸市、P.140)
長久保赤水と日本地図(高萩市、P.147)
岡倉天心と六角堂(北茨城市、P.183)
近代化産業遺産—日立市の大煙突(日立市、P.233)
満蒙開拓青少年義勇軍の内原訓練所(水戸市、P.240)
- 栃木県** 足利学校(足利市、P.98)
日光東照宮(日光市、P.123)
田中正造と足尾銅毒事件(日光市ほか、P.207・210-211)
- 群馬県** 岩宿遺跡の打製石器(みどり市、P.32)
よろいを着た人物—金井東裏遺跡(渋川市、P.38-39)
「天地返し」下之宮中沖遺跡の復旧溝群(玉村町、P.143)
富岡製糸場(富岡市、P.178・巻末年表※7)
- 埼玉県** 稻荷山古墳出土の鉄剣(行田市、P.36)
渋沢栄一(深谷市、P.178)
- 千葉県** 伊能忠敬(香取市、P.146)
- 東京都** 武蔵国分寺(国分寺市、P.49)
江戸時代の江戸の様子(表紙・P.105)
玉川上水(福生市ほか、P.137)
津田梅子(新宿区、P.185)
永井繁子(文京区、P.185)
五日市憲法草案(あきる野市、P.191)
樋口一葉(千代田区、P.207)
山中坂の地蔵堂と石碑(立川市、P.254-255)
旧日立航空機株式会社変電所(東大和市、P.255) **写真I**
東京で行われたプライドパレード(P.285)
- 神奈川県** 鎌倉、名越切通し(鎌倉市・逗子市、P.72)
總持寺の座禅(横浜市、P.80)
復元された箱根関所(箱根町、P.137)
今も残る大山詣の道標(伊勢原市、P.141)
テレワークでオンライン会議に参加する様子(P.283)



4 旧日立航空機株式会社変電所(東大和市) **写真I**



6 石室の壁画(茨城県ひたちなか市、虎塚古墳) **写真H**

九州地方

- 福岡県** 岩戸山古墳の石人(八女市、P.41)
九州国立博物館の文化財保存修理(太宰府市、P.58)
今も残る石築地(福岡市、P.82)
井上伝と久留米餅(久留米市、P.145)
山本作兵衛の炭坑記録画(田川市、P.205)
公害克服の歴史(北九州市、P.288-289) **写真C**
- 佐賀県** 吉野ヶ里遺跡(神埼市・吉野ヶ里町、P.34)
有田焼(有田町、P.119)
辰野金吾(唐津市、P.233)
- 長崎県** 平和祈念像(長崎市、巻頭1)
孫文と梅屋庄吉(長崎市、P.203)
- 熊本県** 記念物—熊本城天守閣(熊本市、巻末1)
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産—崎津教会堂(天草市、巻末年表※6)
- 宮崎県** 北里柴三郎(小国町、P.208)
高千穂神社の夜神楽(高千穂町、P.51)
神話の舞台—高千穂峰(P.51)
石井十次(高鍋町、P.208)
根井三郎(宮崎市、P.245) **写真D**
小村寿太郎(日南市、P.197)
- 鹿児島県** 神話の舞台—高千穂峰(P.51)
薩摩焼(P.119)
西郷隆盛(鹿児島市、P.173・177)
大久保利通(鹿児島市、P.173・177・184)
- 沖縄県** 守礼門(那覇市、表紙)
琉球の文化(P.90-91・132)
沖縄の基地問題(P.274)



1 環境ミュージアムの館内のようす **写真C**



7 根井三郎(1902~1992)(根井三郎を顕彰する会提供) **写真D**

中部地方

- 新潟県** 火焔型土器(十日町市、P.33・巻末1)
高校生が投票を行う様子(柏崎市、P.258)
- 山梨県** 信玄塚(甲斐市、P.294)
- 長野県** 棚畑遺跡出土の土偶(茅野市、表紙・P.33)
旧開智学校(松本市、P.181・300)
- 岐阜県** 杉原千畝(八百津町、P.245)
- 静岡県** 豊田佐吉(湖西市、P.233)
古橋広之進(浜松市、P.267)
- 愛知県** 半田の酢づくり(半田市、P.135) **写真J**
近代化産業遺産—トヨタ産業技術記念館(名古屋市、P.233)



10 半田(愛知県)の酢づくり(酢造り) **写真J**
工程絵圖 ミツカングループ提供

● 学習指導要領との対照表・配当授業時数

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
歴史を学ぶにあたって ※「教科書の構成と学び方」を含む	A～C	巻頭1～2	1
第1編 私たちと歴史	A	P.6～17	5
第1節 歴史のとらえ方	A(1)	P.8～11	(5)
第2節 身近な地域の歴史の探究	A(2)	P.12～17	※
第2編 古代までの日本と世界	B(1)	P.18～63	19
学習のはじめに	B(1)	P.18～21	(1)
第1節 人類の始まりと文明	B(1)	P.22～31	(5)
第2節 日本列島の人々と国家の形成 ※チャレンジ歴史を含む	B(1)	P.32～45	(7)
第3節 古代国家の展開	B(1)	P.46～61	(5)
まとめとふり返り	B(1)	P.62～63	(1)
第3編 中世の日本と世界	B(2)	P.64～103	15
学習のはじめに	B(2)	P.64～67	(1)
第1節 古代から中世へ	B(2)	P.68～71	(2)
第2節 鎌倉幕府の成立 ※チャレンジ歴史を含む	B(2)	P.72～85	(5)
第3節 室町幕府と下剋上	B(2)	P.86～101	(6)
まとめとふり返り	B(2)	P.102～103	(1)
第4編 近世の日本と世界	B(3)	P.104～153	20
学習のはじめに	B(3)	P.104～107	(1)
第1節 中世から近世へ	B(3)	P.108～121	(6)
第2節 江戸幕府の成立と東アジア	B(3)	P.122～133	(5)
第3節 社会の変化と幕府政治の改革 ※チャレンジ歴史を含む	B(3)	P.134～151	(7)
まとめとふり返り	B(3)	P.152～153	(1)
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	C(1)	P.154～213	25
学習のはじめに	C(1)	P.154～157	(1)
第1節 欧米の発展とアジアの植民地化	C(1)	P.158～167	(5)
第2節 近世から近代へ	C(1)	P.168～175	(3)
第3節 近代国家へのあゆみ	C(1)	P.176～189	(5)
第4節 立憲制国家の成立	C(1)	P.190～195	(3)
第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き	C(1)	P.196～203	(4)
第6節 近代の日本の社会と文化 ※チャレンジ歴史を含む	C(1)	P.204～211	(3)
まとめとふり返り	C(1)	P.212～213	(1)
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	C(1)	P.214～257	18
学習のはじめに	C(1)	P.214～217	(1)
第1節 第一次世界大戦と戦後の世界	C(1)	P.218～225	(4)
第2節 大正デモクラシーの時代	C(1)	P.226～235	(3)
第3節 世界恐慌と日本	C(1)	P.236～243	(4)
第4節 第二次世界大戦と日本 ※チャレンジ歴史を含む	C(1)	P.244～255	(5)
まとめとふり返り	C(1)	P.256～257	(1)
第6編 現代の日本と世界	C(2)	P.258～291	14
学習のはじめに	C(2)	P.258～261	(1)
第1節 平和と民主化	C(2)	P.262～271	(5)
第2節 冷戦下の世界と経済大国化する日本	C(2)	P.272～279	(4)
第3節 グローバル化と日本の課題	C(2)	P.280～289	(3)
まとめとふり返り	C(2)	P.290～291	(1)
「歴史との対話」を未来に活かす	C(2)	P.292～299	2
		合計	119

※「チャレンジ歴史」には、1時間を配当しています。

(※予備時間：16時間)

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

※第1編第2節と第2～6編に設定した「でかけよう!地域調べ」(6時間配当)は、この予備時間を利用して実施することを想定しています。

● 観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.28-29	ギリシャ・ローマの政治制度
	—	P.30-31	文明と宗教
	—	P.57	古代の女性—政治や文化での活躍—
3	—	P.77	中世の女性—武家の社会と女性たち—
	—	P.90-91	中世の琉球王国とアイヌ民族
	—	P.93	中世の女性—商工業を担う女性たち—
	—	P.97	河原者がつくり出した文化
4	—	P.124-125	江戸時代の身分制
	—	P.125	豊かになる人々と身分制のひきしめ
	—	P.130-131	近世の琉球王国とアイヌ民族
	—	P.147	人体解剖と差別された身分の人々
5	1	P.158-159	プランテーションと奴隷制、労働運動の始まり
	1	P.160-163	王政から議会制へ、市民革命と人権宣言
	1	P.164-165	アメリカの奴隷解放宣言、先住民の移住
	1	P.174	洗染—揆(岡山県)

編	章	ページ	項目
5	1	P.177	身分制の廃止と四民平等
	1	P.185	近代の女性—日本初的女子留学生と女子教育—
	1	P.186-187	沖縄・アイヌの人々
	1	P.190-195	立憲制国家の成立
	1	P.204-208	日本の産業革命と社会運動の発展
6	1	P.207	近代の女性—家制度と社会運動—
	2	P.226-229	大正デモクラシーの時代
	2	P.228	近代の女性—女性の政治参加を求めて—
	2	P.234-235	水平社の創立とさまざまな人権運動
—	—	P.264-265	日本国憲法の成立と民主化の進展
	—	P.264	現代の女性—女性の地位向上への改革—
	—	P.266-267	生活や権利を守る動き
	—	P.275	在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(大阪市)
	—	P.284-285	持続可能な開発目標(SDGs)、人権の尊重
—	—	P.296-297	政治参加の歴史に学ぶ

2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.36-37	ヤマト王権と渡来人
3	—	P.82-84	元の襲来と鎌倉幕府
4	—	P.116-117	秀吉の海外政策
	—	P.129	雨森芳洲—朝鮮との誠信の交わり—(滋賀県長浜市)
5	1	P.198-203	日清・日露戦争と東アジアの動き
	1	P.203	孫文と梅屋庄吉(長崎市)
	1	P.209	エルトゥールル号遭難事件(和歌山県串本町)
	2	P.218-225	第一次世界大戦と戦後の世界
2	P.236-251	世界恐慌、第二次世界大戦と日本	

編	章	ページ	項目
5	2	P.245	「命のビザ」—杉原千鶴と根井三郎—
	2	P.254-255	多摩地域の空襲を調べる(東京都立川市・東大和市)
6	—	P.262-265	平和と民主化
	—	P.273	核兵器廃絶と平和への願い(広島市)
	—	P.274-275	沖縄返還と韓国、中国との国交正常化
	—	P.280-281	冷戦の終わりとグローバル化
—	—	P.284-285	グローバルな課題と日本の役割
—	—	P.298-299	世界平和への取り組みに学ぶ

3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.43、48-50、56-57	古代の文化
	—	P.51	日本の神話
	—	P.58-59	文化財を守り伝える仕事
3	—	P.78-81、96-99	中世の文化
	—	P.90-91	アイヌ文化、琉球の文化
4	—	P.118-119	安土桃山時代の文化
	—	P.131	アイヌ文化の成熟

編	章	ページ	項目
4	—	P.132-133	今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成
	—	P.138-141、146-149	江戸時代の文化と学問
5	1	P.180-183、206-208	近代(前半)の文化
	2	P.230-233	近代(後半)の文化
6	—	P.279	マスメディアの発達と現代の文化
巻末	—	折込年表	日本の世界遺産、文化財の種類

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目
5	1	P.186-187	領土の画定と隣接地域
6	—	P.263	縮小した領土

編	章	ページ	項目
6	—	P.274-275	復興運動の高まりと沖縄返還
	—	P.286-287	冷戦終結後の近隣諸国との関係

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.141	都市に住む人々のリサイクル
5	1	P.210-211	経済発展か、環境保全か、足尾銅毒事件を通して考えよう(栃木県)

編	章	ページ	項目
5	2	P.233	日立市のシンボル大煙突(茨城県)
6	—	P.277	高度成長のひずみ
	—	P.288-289	公害克服の歴史を調べる(福岡県北九州市)

6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.143	天明のききんと復興
5	2	P.231	関東大震災
6	—	P.282-283	安心・安全のゆらぎ

編	章	ページ	項目
6	—	P.283	私たちにできること—震災の教訓を未来に伝える—(宮城県女川町)
	—	P.294-295	災害の歴史に学ぶ

7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	—	P.8-9	年代・時代区分のあらわし方
	—	P.9	年表の読み取り方
	—	P.11	相手に伝わる説明のしかた
	—	P.12	調査の全体像
	—	P.13	引用のしかた
	—	P.15	聞き取り調査のしかた
	—	P.16	プレゼンテーションソフトを活用した報告のしかた
2	—	P.40	歴史地図の読み取り方

編	章	ページ	項目
2	—	P.43	系図の読み取り方
	—	P.60	史跡見学のしかた
3	—	P.65	絵巻物の読み取り方
	—	P.100	博物館や資料館での調べ方
	—	P.101	歴史新聞づくりのポイント
5	2	P.254	図書館での調べ方
6	—	P.289	年表の作り方
	—	P.289	インターネットを活用した発信のしかた

8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目
—	—	P.292-299	「歴史との対話」を未来に活かす

編	章	ページ	項目
—	—	P.300	歴史を学んで

● 教師用指導書のご案内 令和7(2025)年3月発行予定

教師用指導書は、「学習指導編」「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集」から構成されます。

学習指導編

先生方の授業計画や教材研究をサポートします。

掲載内容

Table with 2 columns: Section (総論編, 学習指導編) and Content (学習指導要領や学習指導計画作成資料などの基本的な資料...)

● 単元を貫く問い

1時間の授業でも常に単元を貫く問いを確認することができます。

● 板書例

1時間の学習のポイントを整理しています。

Composite image showing pages from the teacher's guide, including lesson plans, board examples, and QR codes for digital content.

● 本時の展開

教科書に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点・配慮事項、評価などを例示しています。「見方・考え方」や教科書QRコンテンツを授業でどう扱うかについても提案し、新任の先生でも授業展開を具体的にイメージできるようにしました。

● 解答例・手立て

教科書の問いの解答例や、指導の手立てを示し、評価にも活用していただけます。

ワークシート・評価問題編

先生方の授業準備や評価をサポートします。

掲載内容

Table with 2 columns: Section (ワークシート編, 評価問題編) and Content (教科書に準拠した1時間ごとのワークシート...)

デジタルデータ集

ICTを活用した授業をサポートします。

収録内容

Table with 2 columns: Section (教科書関連データ, 付録データ) and Content (教科書紙面データ, 電子黒板など提示型ICT機器で利用できる教科書全ページの紙面PDF...)

「デジタルデータ集」はクラウド配信を予定していますので、WindowsPC・iPad・Chromebookなどの多様な機種で標準ブラウザを使用しての閲覧が可能です。

Sample of a worksheet and evaluation problem page, including lesson objectives, content, and evaluation questions.

ワークシート(解答例付き)

Sample of a digital data page showing a historical text about the Battle of the Sea of Japan (1942) with annotations and a QR code.

教科書紙面データ(総ルビ付きPDF)

● デジタル教科書・デジタル教材のご案内

1人1台端末で利用する「学習者用デジタル教科書」、学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができる「学習者用デジタル教科書+教材」、電子黒板などで提示する「指導者用デジタル教科書(教材)」を発行します。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。WindowsPC・iPad・Chromebookの3種に対応しています。

📍 学習者用デジタル教科書

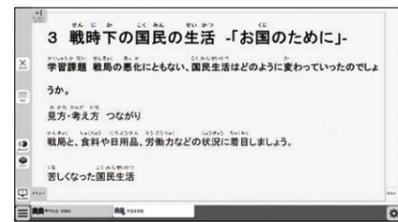
いつでも拡大、いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。

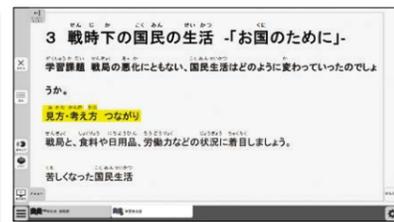
充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更(リフロー機能)、総ルビ表示、本文の機械音声読み上げ、背景色・文字色等の変更など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

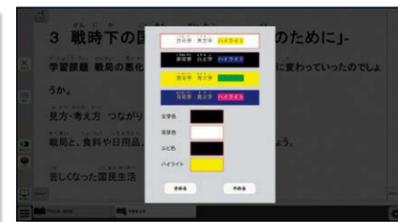
① リフロー機能・総ルビ表示



② 機械音声読み上げ



③ 背景色・文字色等の変更

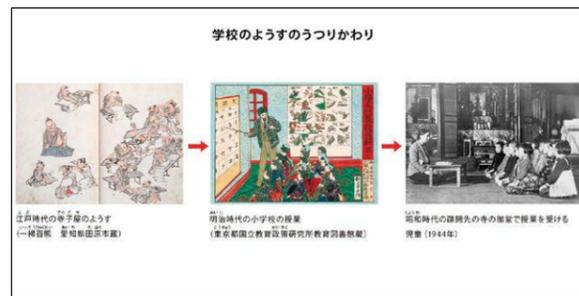


📍 指導者用デジタル教科書(教材)

豊富なコンテンツで生徒の理解を支援

コンテンツ例① モノクロ写真をカラー化して表示

モノクロ写真をAIの技術や戦争体験者との対話などによってカラー化して表示することで、生徒の学習意欲を高めます。



コンテンツ例② 異なる時代の資料比較

紙の教科書では別のページに掲載している画像を並べて表示し、他の時代と比較することで、時代の特徴を読み取りやすくします。

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・様々な場面で活用しやすい「NHK for Schoolリンク集」

本製品は開発中のため、記載の内容・仕様は予告なく変更する場合があります。

● 日文Webサイトのご案内

日文Webサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つ様々な情報を積極的に発信しています。

📍 令和7年度版 中学校教科書 特設サイト

令和7年度から使用される新しい中学校教科書『中学社会 地理的分野』『中学社会 歴史的分野』『中学社会 公民的分野』『中学数学』『美術』『中学道徳 あすを生きる』をご案内しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/r7js_textbooks/

- 動画** 教科書や教科書QRコンテンツのポイントを短く簡潔に紹介します。
- 教科書のポイント** 教科書の特長をポイント別によりわかりやすく紹介します。
- 教科書QRコンテンツ** コンテンツ紹介のほか、実際にコンテンツを触ることができます。
- 教師用指導書** 各編、資料、デジタル教材など、内容や構成を紹介します。
- 資料ダウンロード** 内容解説資料、編修趣意書、年間指導計画案などを掲載します。
- 表紙** 各分野の表紙と、表紙デザインへ込めた思いを紹介します。
- 関連コンテンツ** 教科書に関連する様々なお役立ちコンテンツを紹介します。
- 日文が大切にしていること** SDGs、特別支援教育・CUD、防災・安全、道徳教育との関連、現代的な諸課題への対応など、教科を横断する取り組みについて紹介します。

📍 令和7年度版 中学校 デジタル教科書サポートサイト

令和7年度から使用される新しい中学校デジタル教科書を中心にご案内しています。



- 基本機能からオリジナルツールまでわかりやすく紹介します。
- 指導者用・学習者用の内容や特長などを詳しく紹介します。
- 体験版でデジタル教科書の実際の動作やコンテンツを体験できます。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。



https://www.nichibun-g.co.jp/digital_support3/

📍 その他のおすすめコンテンツ

日文Webサイトの数あるおすすめコンテンツの中から、今回は2つピックアップします。

Webマガジン「まなびと」

美術、道徳、社会、人権、共生社会、ESD、PBL、ICTなど、様々なテーマにおいて深掘りした連載記事を中心に、定期的に更新しています。



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/web-magazine/manabito/>

機関誌・教育情報

教科の機関誌、授業や指導に悩む先生方へ向けたABCシリーズ、様々なテーマを扱った教授用資料などを電子ブックやPDFで公開しています。



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/>

教科書検討の観点からみた内容の特色

※青字の「⇒(P.000)」は教科書のページ数です。

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所
① 教育基本法及び学校教育法との関連		
⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	我が国の歴史に関する 基礎的・基本的な知識及び技能 を確実に習得し、 歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する態度 を育てることで、幅広い知識と教養を身につけるとともに、私たちの今と将来を明るく豊かなものとするために歴史を学ぶことができるようにしている。 ◆第1編「 私たちと歴史 」は、第1節で小学校の歴史学習を振り返る活動を通じて、 歴史的な見方・考え方を働かせた 歴史の学び方を解説しているとともに、年代の表し方や時代区分の意味や意義、年表の読み取り方などの歴史学習の基盤となる知識及び技能を習得できるようにしている。第2節では、身近な地域の歴史の調査の仕方・考察の仕方・発表の仕方を具体的に学ぶことができる構成にしている。 ◆第2～6編の各時代の学習では、単元を貫く問いを立て、学習の見通しをもてるように 導入 で工夫している。 本文 は十分な文字量を確保して、 平易な表現で歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述 している。 ◆ 導入 に対応する まとめとふり返し では、単元を貫く問いを解決するとともに、 習得した知識を活用して時代の特色をとらえる ことをねらいとした学習活動を設けている。 ⇒ まとめとふり返し (P.62-63、102-103、152-153、212-213、256-257、290-291) ◆各時代に設置された チャレンジ歴史 では、資料の読み取りから、生徒に 選択・判断 させるものまで 発達の段階に応じた教材 を掲載しており、 主体的・対話的で深い学びの実現 を図っている。 ⇒ チャレンジ歴史 (P.38-39、74-75、150-151、210-211、252-253)	⇒P.14-15 P.30 ⇒P.6-11 ⇒P.12-13 ⇒P.32-33
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、 歴史的な見方・考え方を働かせて思考力、判断力、表現力等の向上 を図りながら、学習の成果を実感できる構成しているとともに、 歴史と職業及び生活とのかかわり への関心を高め、 勤労を重んずる態度 を育てることができるようにしている。 ◆教科書全編にわたり、 歴史的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする問い を豊富に設け、 主体的・対話的で深い学びが実現 できるようにしている。 ◆ 産業を支えた先人の取り組みや文化財の修理 に取り組む現代の人々の仕事を取り上げ、 勤労を重んずる態度を養 えるよう配慮している。 ⇒ 歴史を振り返る (P.58-59) ⇒ 先人に学ぶ (P.145、159) ⇒ 地域に学ぶ (P.205、233)	⇒P.14-15 ⇒P.24-25
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	人権尊重、男女共同参画 などについての歴史に関わる事象を豊富に取り上げるとともに、協働して取り組む学習活動を提案し、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけ、社会の一員としての自覚を培えるようにしている。 ◆今日の 基本的人権 は、先人の多年にわたる努力の成果として獲得されてきたものという観点から、 人権にかかわる内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを記述し、人権を尊重することの大切さ を学ぶことができるよう配慮している。 ◆ 民主政治の来歴や政治体制の変化、人権思想の発達や広がり を学習することで、 社会形成への参画 を求め続けた先人の取り組みを知り、 主権者としての自覚 を培うことができるよう配慮している。 ◆ 現代の諸課題 について、それが起こった 歴史的な背景や課題に対する先人たちの取り組み を知り、生徒が 歴史を踏まえてよりよい未来の実現にむけて構想し、社会の形成に主体的に参画し、その発展に寄与する態度 を養えるよう配慮している。 ⇒「 歴史との対話 」を 未来に活かす (P.292-299)	⇒P.22 ⇒P.31 ⇒P.20-25
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	防災・減災、資源・環境、生命の尊さ などにかかわる先人の働きを積極的に取り上げている。歴史に学び、そこから自分たちの生き方に生かしていく態度や、 生命や自然を大切に する態度を育てることができるようにしている。 ◆ 災害に関する教材や課題学習 を掲載し、 防災・減災を考える態度 を養えるよう配慮している。 ⇒ 先人に学ぶ (P.143、283) ⇒「 歴史との対話 」を 未来に活かす (課題例1：P.294-295) ◆ 環境問題や公害克服のために活躍した先人たちの取り組み を掲載し、 環境の保全に寄与する態度 を養えるよう配慮している。 ⇒ 先人に学ぶ (P.141) ⇒ チャレンジ歴史 (P.210-211) ⇒ でかけよう！地域調べ (P.288-289) ◆ 生命の尊さにかかわる教材 を掲載し、 かけがえのない生命を尊重する態度 を養えるよう配慮している。 ⇒ 先人に学ぶ (P.165、209、245、283)	⇒P.24-25 ⇒P.24 ⇒P.23
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	我が国の 伝統と文化の特色 を広い視野に立って考え、 国際平和の実現 に向けて、理解を深めることができる内容を豊富に取り上げ、自分たちの住む 身近な地域や我が国を愛する心、他国を尊重する態度 を育てることができるようにしている。 ◆各時代の 文化の特色 を当時の 社会の様子と関連させて理解 するとともに、 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考える ことができるようにしている。 ⇒ 文化史の学習 (P.43、48-51、56-57、78-81、90-91、96-99、118-119、131、132-133、138-141、146-149、180-183、206-208、230-233、279) ◆ 日本の領土 について、 北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯 を丁寧に解説し、 日本固有の領土 であることを明記している。また、 平和的な問題解決への取り組み をわかりやすく解説している。 ⇒ 本文ページ (P.184-187、202-203、263、271、285) ⇒ 歴史を振り返る (P.286-287) ◆ 戦争の悲惨さや、二度の世界大戦後に国際連盟や国際連合が設立され、国際平和への努力 がなされたことなどを学び、 平和な国際社会の実現に向けて考える ことができるよう配慮している。	⇒P.26-27 P.31 ⇒P.23 ⇒P.23

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。	◆ 学校教育法第30条第2項 に示された「 基礎的な知識及び技能の習得 」、「 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成 」、「 主体的に学習に取り組む態度の育成 」が重視されている。	⇒P.6-15	
② 学習指導要領との関連			
⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。	◆ 学習指導要領に準拠し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着 を図り、 各時代の特色を踏まえて、我が国の歴史の大きな流れを理解 するとともに、 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする思考力、判断力、表現力等の向上 を図る学習を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成 する内容になっている。	⇒P.6-15 P.16-17	
⇒ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆ 本文 は原則1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認・表現コーナー を設けて、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いを提示しており、 習得した知識及び技能を用いて文章化・言語化 できるようにしている。 ◆ 本文 は、十分な文字量を確保し、平易な表現で、 歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述 している。 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、 学習課題の解決に向けての手がかりとなる主な歴史的な見方・考え方の例 を示している。 ◆見開きページの右端には、 時代・世紀のスケール を設け、学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認できるように工夫している。 ◆ 歴史の学習を豊かなものにするために、歴史+α、先人に学ぶ、地域に学ぶ、人物コラム、各時代の女性 (コラム)を設置し、幅広い視点から学習できるように工夫している。 ◆資料を用いた活動を示す 資料活用コーナー を設けており、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるように工夫している。 ◆側注欄に設けた 基本用語コーナー では、歴史を理解する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようにしている。⇒ 基本用語 (P.3に一覧を掲載) ◆教科書内で関連する事項どうしを結び付ける 参照ページ で、多面的・多角的な見方をすることで、学習内容の定着を図っている。 ◆ 連携コーナー では、小学校社会科の学習や地理的分野・公民的分野の学習とのつながりを示し、生徒の理解を確かなものにするとともに、 習得した知識を活用 できるようにしている。 ◆側注欄などを利用して、 小年表・小地図 を適所に掲載し、 歴史に関わる事象の流れや起きた場所 がすぐに確認できるようにしている。 ◆ スキルUP によって、 社会的事象等について情報を収集し、読み取り、まとめる技能 を身につけることができるようにしている。⇒ スキルUP (P.3に一覧を掲載) ◆ 図版 は、 本文との関連が確 で、 時代像を具体的にイメージ できる資料を豊富に掲載している。資料を読み取る活動を随所に設定しており、 生徒が楽しく歴史を学びながら資料活用能力の向上 も図れるように工夫している。	⇒P.10-11 P.36 ⇒P.10-11 ⇒P.10-11 P.14-15 ⇒P.10-11 P.34 ⇒P.20-21 P.28 ⇒P.10-11 P.26-27 ⇒P.28 ⇒P.10-11 ⇒P.10-11 P.37 ⇒P.10-11 ⇒P.8-11 P.29 ⇒P.10-11 P.26-27	
	⇒ 思考力、判断力、表現力等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆ トライ、スキルUP、資料活用コーナー、チャレンジ歴史 なども含めて、 毎時間、思考力、判断力、表現力等の向上 を図る場面を設定し、随所で生徒が自分の言葉で表現できるように構成している。 ◆各時代の まとめ では、 習得した知識を活用し、歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色をさぐり、生徒が各時代の特色を自分の言葉で表現 することをねらいとした活動ができるようにしている。 ⇒ 時代の特色をさぐる (P.63、103、153、213、257、291)	⇒P.8-11 P.26-29 P.32-33 ⇒P.12-13
	⇒ 学びに向かう力、人間性等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆生徒が 学習の見通し をもったり 学習を振り返 ったりすることができるよう、教科書に 単元を貫く問い ([編(章)の問い]、[節の問い])を構造的に設定している。 ◆第2～6編の各編(章)の 導入ページ の 学習のはじめ には、活動を通して単元を貫く問いを立てたり学習を見通したりすることができるよう工夫している。また、何を学ぶかをとらえるための教材として、時代の前後を比較できる資料や年表・世界地図を読み取る活動である トライ を設定し、生徒にとって 取り組みやすくなるよう に工夫している。 ⇒ 学習のはじめ に(P.18-21、64-67、104-107、154-157、214-217、258-261) ◆第2～6編の各編(章)末に設定している まとめとふり返し ページでは、学習したことをまとめ、振り返る活動を通して単元を貫く問いに答える活動を設定しており、 主体的に学習に取り組む態度の見取り を支援している。 ⇒ まとめとふり返し (P.62-63、102-103、152-153、212-213、256-257、290-291)	⇒P.6-9 ⇒P.8-9 ⇒P.12-13
	⇒ 歴史的な見方・考え方を習得・活用 するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆第1編「 私たちと歴史 」では、 歴史的な見方・考え方を働かせた歴史の学び方が身につけられる構成 になっており、本文ページの学習にスムーズに移行することができるよう工夫している。 ◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きの学習課題の解決に向けた手がかりとなる 歴史的な見方・考え方の例 を示している。	⇒P.14-15 ⇒P.10-11
	⇒ 歴史的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学び を実現するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆複数の資料をもとに、 歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さ を体験できる チャレンジ歴史 を設けている。第2～5編第2章の各編(章)の一つずつ設置しており、 発達の段階に合わせて、主体的・対話的で深い学びを実現 できるようにしている。 ⇒ チャレンジ歴史 (P.38-39、74-75、150-151、210-211、252-253) ◆話し合いなどの対話的な活動が想定される問いには 学び合いマーク を付している。	⇒P.32-33 ⇒P.10-11 P.27

資質・能力の三つの柱を養うための創意工夫

教科書検討の観点		内容の特色	本冊子の主な 関連箇所
③ 構成・配列			
組織・配列・分量	⇒我が国の歴史の大きな流れをつかむのに、効果的な組織・配列になっているか。	◆各時代の学習では導入ページの 学習のはじめ にで単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。本文ページでの学習を終えた後の まとめとふり返し ページでは、単元を貫く問いに答える活動や時代の特色をとらえる学習活動を設定している。この構成を原典・古代から現代までの学習で一貫させることで、時代の特色を踏まえて我が国の歴史の大きな流れを理解できるようにしている。	⇒P.6-13
	⇒構成や分量は適切か。	◆全体を「 私たちと歴史 」「 古代までの日本と世界 」「 中世の日本と世界 」「 近世の日本と世界 」「 近代の日本と世界 」「 現代の日本と世界 」の6編構成とし、詳細な学習に陥ることがないように、 学習内容の構造化と焦点化 を図っている。119時間の授業時数で学習が完了できるようにしており、これは、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数135時間からいって妥当な分量である。	⇒P.6-7 P.40
内容の選択	⇒歴史に関わる事象の選択は、どのようになされているか。	◆学習指導要領の趣旨に基づいて、各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを的確におさえられるように、 学習材を厳選 している。	⇒P.6-15 P.40
	⇒我が国の歴史の背景にある世界の歴史とその関連について、どのような工夫があるか。	◆聖徳太子の政治を東アジアの変化のなかで、元寇をユーラシアの変化のなかで捉えるなど、 我が国の歴史の背景となる世界の歴史の記述が充実 している。また、各時代の導入ページに 地図で見る世界の動き をおき、同時代の世界を概観し、広い視野で日本の歴史を捉えられるように単元を構成している。 ⇒ 地図で見る世界の動き (P.21、67、107、157、217、261)	⇒P.8-9 P.31
	⇒歴史上の人物について、どのように選択され位置づけられているか。	◆本文では、先人たちが努力を積み重ね、社会や文化を発展させ、生活を豊かにしてきた歴史を理解できるように記述している。また、 チャレンジ歴史 、 人物コラム 、 先人に学ぶ 、 地域に学ぶ などの特設ページやコラムにおいても、問題解決に取り組んだ先人の姿を具体的に紹介している。 ⇒ 人物コラム・先人に学ぶ (P.4に一覧を掲載) ⇒ 地域に学ぶ (P.5に一覧を掲載) ⇒ チャレンジ歴史 (P.210-211)	⇒P.20-25 P.28 P.32-33
	⇒基本的人権にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆今日の私たちに保障されている 基本的人権は、先人の多年にわたる努力の成果 として獲得されてきたものという観点から、部落差別のほか、女性・アイヌ・在日外国人などの基本的人権にかかわる内容は、 歴史的な経緯と現在の取り組みを丹念に記述 している。 各時代の女性 のコラムでは女性たちが社会で活躍する姿や権利を求めて運動する姿を紹介するなど 人権に関する教材が充実 している。 ⇒ 歴史を掘り下げる (P.174、234-235) ⇒ 各時代の女性 (P.4に一覧を掲載)	⇒P.22 P.41
	⇒平和・命の尊さにかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆世界の平和をめざした先人の取り組みや平和に向けた国際的な活動を取り上げ、 国際協調の精神を養 えるように教材を位置づけて 平和や国際理解をめざして行動する態度を培 おうとしている。 ⇒ 本文ページ (P.222-223、268、280-281、284-285) ⇒ 「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.298-299)	⇒P.23 P.41
	⇒環境・資源・エネルギーにかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆産業の発展とそれに伴う 資源・エネルギーにかかわる事例や、公害の問題解決に取り組んだ人々 を教材化し、生徒が 選択・判断 できるようにしている。 ⇒ 地域に学ぶ (P.205、233) ⇒ 先人に学ぶ (P.141) ⇒ でかけよう！地域調べ (P.288-289) ⇒ チャレンジ歴史 (P.210-211)	⇒P.24 P.41
	⇒伝統・文化にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆各時代の文化史については、原則3、4ページ構成にして代表的な事例を豊富に、大きく取り上げるようにしている。また、網羅的な取り扱いにならないように配慮している。 各時代の文化を我が国の歴史の大きな流れと諸外国との交流のなかで学び、その特色を広い視野から考えられるようにしている 。また、 琉球・アイヌの文化 に関する取り扱いも充実している。 ⇒ 文化史の学習 (P.43、48-51、56-57、78-81、96-99、118-119、138-141、146-149、180-183、206-208、230-233、279) ⇒ 琉球の文化 (P.90-91、132-133) ⇒ アイヌの文化 (P.90、131、132-133) ◆我が国の 国宝や史跡、世界遺産 などを豊富に紹介している。さらに、 文化財の保護・継承に大きな役割を果たした先人や現在の取り組み も紹介して、 受け継がれてきた伝統や文化を大切に思い、引き継ぐ態度を養 おうとしている。 ⇒ 先人に学ぶ (P.79、97、183) ⇒ 歴史を掘り下げる (P.58-59) ⇒ 日本の世界遺産・文化財の種類 (折込年表、巻末1、巻末3-4)	⇒P.25-27 P.41 ⇒P.25-27
	⇒防災・減災にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆過去の災害や、 防災・減災、復興に向けた先人の取り組み を掲載し、生徒が 自分ができることを考える態度を養 おうとしている。 ⇒ 先人に学ぶ (P.143、283) ⇒ 「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.294-295)	⇒P.24-25 P.41
	⇒持続可能な社会、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、現代的な諸課題にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆P.4-5、284にて17の目標を示すとともに、SDGsに特に関連の深い教材については SDGsマーク を付して随所に登場させており、教科書全体を通してSDGsについて考えられるようにしている。 ⇒ 持続可能な開発目標 (P.4-5、284など) ◆ 持続可能な社会の実現にかかわる現代的な諸課題の歴史的背景や今日までの取り組みを学ぶとともに、生徒が自らもかかわる切実な課題としてとらえ、解決に向けて歴史を踏まえて多角的・多面的に考えることができるよう構成 している。⇒ 「歴史との対話」を未来に活かす (P.292-299)	⇒P.20-21 P.41 ⇒P.20-25 P.41

教科書検討の観点		内容の特色	本冊子の主な 関連箇所	
内容の選択	⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆ 生徒自身が地域への関心を高め、地域の歴史を発見 していけるように、身近な地域の歴史の調査の仕方・考察の仕方・発表の仕方を解説しているほか、 地域に学ぶ を掲載して、地域の具体的な事例とのかかわりのなかで我が国の歴史を理解させようとしている。また、取り上げられた事例は、その調べ活動を通して、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるとともに、 我が国の歴史について理解と愛情を深めることができるように構成 している。 ⇒ 身近な地域の歴史の探究 (P.12-17) ⇒ 地域に学ぶ (P.5に一覧を掲載) ⇒ でかけよう！地域調べ (P.60-61、100-101、120-121、188-189、254-255、288-289) ◆古代の人々の信仰や考え方がわかる 神話 のほか、日本の 国号・天皇号の始まり などを考古学の成果を活用しながら具体的に説明している。 ⇒ 歴史+α (P.45) ⇒ 歴史を掘り下げる (P.51) ◆日本の領土について、 北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯 を丁寧に解説し、 日本固有の領土であること を明記している。また、 平和的な問題解決への取り組み を解説するほか、現代とは異なる前近代の国際秩序を紹介するなど、 現代の課題を広い視野からとらえられる構成 にしている。 ⇒ 本文ページ (P.184-187、202-203、263、271、285) ⇒ 歴史を掘り下げる (P.286-287) ⇒ 歴史+α (P.89)	⇒P.30 P.41 ⇒P.41 ⇒P.23 P.41	
	⇒ウェルビーイングとかかわる学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆生徒が、社会を構成する当事者として、 個人と社会の幸せのために、多様性と包摂性のある持続可能な社会をめざ して、自ら主体的に考え、学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養 ができるような教材が設けられている。	⇒P.20-25	
	⇒個別最適な学び、協働的な学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆ 個別最適な学び については、 指導の個別化の実現のため、教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 など、生徒の学習到達度に応じて教師から柔軟に提供できる多様な教材を設けている。また、 第1編第2節「身近な地域の歴史の探究」「歴史との対話」を未来に活かす は生徒自身が課題を発見し、探究活動を進めることを想定しており、 学習の個性化が実現 できる。 ◆ 協働的な学び については、 導入ページや資料活用コーナー で資料を読み取ったことを発表し合う場面、 チャレンジ歴史 で自分の考えを出し合う場面、 まとめとふり返し ページで各時代の特色を発表し合う場面など、生徒の多様な回答が可能な問いや活動には 学び合いマーク を付している。自分の考えをクラスメイトとともに練り上げていく対話的な活動を提案するとともに、こうした活動を積み重ねることで、 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成 するように配慮している。 ⇒ 学び合いマーク (P.11、18-21、31、39、55、63、83、151、163、211、241、257、291など)	⇒P.16-17 P.21-25 P.30 ⇒P.8-13 P.27 P.32-33	
	⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。	◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように各種の教材が設けられている。 ◆ 第1編第2節、でかけよう！地域調べ、地域に学ぶ などのなかで、博物館の見学の仕方や施設職員へのインタビューなどがあり、 社会と連携・協働 しながらよりよい 社会を創るために必要な資質・能力の育成 に参考となる事例が充実している。	⇒P.37 ⇒P.29 P.30	
	⇒ICTを活用して学習を効果的に進められるように工夫しているか。	◆教科書紙面に 二次元コード を掲載し、発行者Webサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等のデジタルコンテンツである 教科書QRコンテンツ に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ◆教科書QRコンテンツのある箇所には、 タブレットマーク を配置しその内容を示している。	⇒P.16-19 ⇒P.11 P.16	
	⇒デジタル教科書・教材の発行予定はあるか。	◆教科書に完全に準拠し、拡大・リフロー、音声読み上げ、色の反転・配色設定、総ルビ表示といった特別支援機能をもつ 学習者用デジタル教科書 や、動画・アニメーション表示などの豊富なコンテンツを収録し、電子黒板や1人1台端末などで操作することができる 指導者用/学習者用デジタル教材 の発行が予定されている。	⇒P.35 P.44-45	
	⇒情報活用能力の育成についてどのような配慮がなされているか。	◆社会科におけるICT機器を利用した学習を促進し、情報活用能力を育成できるようデジタルコンテンツを提供している。 ◆ 情報を収集し、読み取り、まとめる技能を解説するスキルUP を教材に合わせて適宜掲載し、生徒の学習活動を支援している。 ◆時代の特色を考える まとめとふり返し では、生徒が主体的に課題解決・探究学習を行うための教材を設けている。また、そのような学習に際して、情報を整理・比較などするための 思考ツール を取り上げ、その活用の仕方を 教科書QRコンテンツ で丁寧に解説している。	⇒P.16-19 ⇒P.29 ⇒P.12-13 P.19	
	⇒生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。	◆第2～6編のすべての節の導入ページに 教科書QRコンテンツ「イントロダクションムービー」 を用意している。前の節で学習したことを確認したり、「節の問い」を解決するための学習の見直しをもったりする際に役立つ教科書完全準拠の動画コンテンツで、家庭での予習・復習にも利用できるように工夫している。 ◆ 基礎的・基本的な知識 に関する一問一答の問題である 教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 を用意している。答え合わせや誤答した問題の振り返りを生徒自身で行え、家庭での予習・復習にも利用できるように工夫している。 ◆歴史を理解する際に重要な用語を解説した本文ページの 基本用語 や巻末の 歴史学習の基礎資料 を用意している。 さくいは は、人名・事項のほかにテーマ別(政治、経済・社会、文化、外交)を設置するなど、生徒の主体的な学習を支える基礎資料が充実している。 ⇒ 基本用語 (P.3に一覧を掲載) ⇒ 歴史学習の基礎資料 (P.301-303、巻末1-4) ⇒ さくいは(人名・事項) (P.304-307、テーマ別/P.292-293)	⇒P.16-17 ⇒P.16-17 ⇒P.28	
	他分野との連携	⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達の段階に対して、どのような配慮がなされているか。	◆ 第1編 や各時代の 導入の年表 、本文ページ脚注の 連携コーナー において、 小学校で学んだ人物・文化遺産などを再確認 できる構成になっている。生徒が、既習事項を踏まえて、スムーズに中学校の歴史学習に移行できるように工夫している。 ⇒ 第1編 (P.6-7) ⇒ 「導入」の年表 (P.20、66、106、156、216、260) ⇒ 連携コーナー(小学校社会科) (P.35、43、49、55など) ◆生徒の 思考力、判断力、表現力等を養 う活動では、自由記述以外に、 話型を示して取り組みやすくする場所 を設けるなど、 発達の段階を考慮した配列 にしている。	⇒P.8-11 P.14-15 P.37 ⇒P.12-13

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
他校種・他教科・他分野との接続 ⇒地理的分野や公民的分野との連携について、どのような配慮がなされているか。	◆地理・公民との関連を考慮した内容構成にしている。地理的分野との関連では、 地図を多用して 、空間的な見方から史実を的確にとらえる能力を育成しようとしている。公民との関連では、「 歴史との対話 」を 未来に活かす などで現代社会の諸課題について、その歴史的背景を明らかにし、公民的分野の学習につなぐように構成している。 ⇒「 歴史との対話 」を 未来に活かす (課題例/P.294-299) ◆本文ページ脚注の 連携コーナー において、生徒が地理や公民の学習に関連する事項を 確認、活用 することができる。 ⇒ 連携コーナー (地理・地図帳・公民/P.25、77、93、109、161、163、171)	⇒P.21-25 P.36-37 ⇒P.11 P.37	
	⇒他教科との関連について、どのような配慮がなされているか。	◆本文ページ脚注の 連携コーナー において、歴史的分野の学習内容と他教科との関連を示唆し、教材を多面的・多角的なとらえ方ができるよう工夫している。 ⇒ 連携コーナー (国語/P.27)	⇒P.37 P.41
	⇒道徳教育との関連から、取り扱う内容はどのようなものになっているか。	◆教科書全体を 個人の尊重の考え方 を基本理念として構成しており、取り上げられている教材は、人権尊重・男女共同参画などの観点から適切に選択している。 ◆主権者の育成という観点から、民主政治の来歴や、現代につながる政治制度や人権思想の広がりについての学習が充実しており、 社会参画 への関心や意欲、 持続可能な社会 の形成に参画する態度を養えるようにしている。	⇒P.37 ⇒P.20-25 P.31 P.41
④ 正確性及び表記・表現			
⇒文章および図版等の表現は正確か。	◆本文や写真・年表・地図・グラフ・イラスト等の図版類すべてにわたり、内容はもとより、用語の一つ一つまでも細心の吟味を払うとともに、 きわめて正確で信頼 できるものになっている。	⇒P.10-11	
⇒カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。	◆ 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家 の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則1授業時間=見開き2ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、 授業や生徒の思考の流れに即したレイアウト で構成されている。 ◆見開きページの右端には、 時代・世紀のスケール がそえてあり、 学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認 できるように工夫している。 ◆文字は、 視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント(UDフォント) を使用している。 ◆本文は平易な文章で、抽象的・網羅的な記述を避けて、 具体的に記述 している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き2ページの初出にふりがながを付し、読みまちがいのおそれがあるものや人名等については教育漢字であっても極力ふりがながを付して、読み取りやすくしている。 ◆ふりがなは、 大きめのゴシック体 を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆ 重要語句は太字 にして、 全てふりがなが付 されている。ていねいな解説をした側注も充実し、振り返りと広がり意識した 参照ページ が随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ◆図版には番号を付すとともに、本文にも関連する 図版番号 を添えており、 本文と図版を関連して読み取らせる ようにしている。 ◆時代区分や年代のあらわし方を説明する教科書P.9に各時代の色が示され、目次から第1～6編、巻末折込年表にいたるまで、 時代の色を統一 して示している。 ◆地図・グラフ等の図版類は、 カラーバリアフリーに配慮した配色 にするほか、形や模様、線の種類など、 色以外の情報でも識別 できるように配慮している。 ◆本文が22、26ポイントの2種類の 拡大教科書 の発行が予定されている。	⇒P.34-35 ⇒P.10-11 ⇒P.10-11 P.34 ⇒P.34-35 ⇒P.10-11 ⇒P.10-11 P.34 ⇒P.34 ⇒P.34 ⇒P.10-11 P.34-35 ⇒P.34 ⇒P.35 ⇒P.35	
⑤ 造本			
⇒大きさ・判型について	◆見開きページの情報量を充実させるため、ワイドな AB判 が採用されている。	⇒P.8-9	
⇒印刷の鮮明さについて	◆文字や写真、イラストなどの印刷は鮮明で、読み取りやすく、生徒の興味・関心を高めることができる。	⇒P.10-11 P.26-27	
⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。	◆製本は、 堅牢なあじろ縫じ を採用し、針金縫じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、 良質で軽い紙 を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、 植物油インキ を使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は可能なかぎり使用せず、 再生紙 を使用して人体や環境への影響を少なくしている。	⇒P.34	
⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。	◆表紙の装丁は、原始・古代から現代までの歴史的分野の学習内容に即した 有形・無形の文化財 などの写真を配置している。また、 世界と日本、過去と現在、先人と私たち といったつながりや、多様性、グローバル化、持続可能な社会をイメージしてデザインしており、親しみやすく、かつ 生徒の学習意欲を喚起 するものになっている。	⇒表紙 P.34	

日本文教出版の志 - Purpose

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみよう」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

私たちは、学びのはじまりを大切にし、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に
した教科書・教材の発行に挑戦し続けてきました。

どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。

その想いを、志(Purpose)に込めています。

私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、
その先に広がる未来をともに育んでいきます。



● 著作者

吉川 真司 京都大学大学院教授
野間 敏克 同志社大学教授
水内 俊雄 大阪市立大学名誉教授
大阪公立大学大学院客員教授

浅川 俊夫 東北福祉大学教授
浅田 淳一 元福山市立城南中学校教諭
李 洪 俊 元大阪市立加美南中学校教諭
五百旗頭 真 神戸大学名誉教授
池口 明子 横浜国立大学准教授
池野 範男 広島大学名誉教授
井田 仁康 筑波大学教授
市川 則文 三重大学教職大学院特任教授
一ノ瀬 俊明 国立環境研究所 席研究員
名古屋大学大学院教授

伊藤 直之 鳴門教育大学大学院准教授
井上 満郎 京都市歴史資料館館長
京都産業大学名誉教授

岩崎 圭祐 鹿児島大学助教
岩崎 奈緒子 京都大学教授
大岡 聡 日本大学教授
大坂 聡 札幌市立義務教育学校福移学園教諭
大西 宏治 富山大学教授
大庭 邦彦 聖徳大学教授
奥山 研司 扇町同窓会理事長
小貫 篤 埼玉大学准教授
角田 将士 立命館大学教授
梶谷 真弘 茨木市立南中学校教諭
川北 稔 大阪大学名誉教授
川口 広美 広島大学大学院准教授
木原 俊行 大阪教育大学教授

金田 章裕 京都大学名誉教授
京都府立京都学・歴史館館長

熊田 禎介 宇都宮大学准教授
栗栖 薫子 神戸大学大学院教授
桑原 敏典 岡山大学学術研究院教授
國分 麻里 筑波大学教授

小長谷 有紀 国立民族学博物館名誉教授
小西 信行 京都市立旭丘中学校教頭
小林 伸彦 茨城大学大学院准教授

小林 弘明 札幌市立厚別南中学校教諭
米家 志乃布 法政大学教授

米家 泰作 京都大学大学院教授
今 直道 札幌市立信濃中学校教諭

榊原 範久 上越教育大学大学院教授
指 昭博 神戸市外国語大学名誉教授

佐藤 幸治 京都大学名誉教授
日本学士院会員

佐藤 廉也 大阪大学大学院教授
杉山 勉 京都橋大学非常勤講師

鈴木 恭太 仙台市立南光台中学校教頭
鈴木 直 札幌市立月寒中学校教諭

周藤 芳幸 名古屋大学大学院教授
住谷 勇紀 福山市立幸千中学校教諭

曾我 謙悟 京都大学大学院教授
高岡 裕之 関西学院大学教授

田口 紘子 日本体育大学教授
田口 祐弥 北海道教育大学附属札幌中学校教諭

棚橋 健治 安田女子大学教授
田丸 明史 札幌市立手稲西中学校校長

丹後 七重 奈良教育大学附属中学校教諭
辻中 豊 東洋学園大学学長
筑波大学名誉教授

筒井 惣一郎 近江八幡市立八幡東中学校教諭
長島 和広 横浜市立鶴居中学校校長

永田 成文 広島修道大学教授
馬崎 大輔 宮崎大学教育学部附属中学校教諭

橋本 康弘 福井大学教授
樋口 雅夫 玉川大学教授

藤井 譲治 京都大学名誉教授
富士道 正尋 全日本中学校長会事務局長
元小金井市立南中学校校長

二川 正浩 東京家政大学准教授
二村 太郎 同志社大学准教授

升野 伸子 昭和女子大学教授
松田 聡子 桃山学院大学教授

松久 一道 愛知県公立中学校教諭
松本 哲治 同志社大学大学院教授

三枝 暁子 東京大学大学院准教授
水山 光春 京都教育大学名誉教授
京都橋大学教授

宮口 侗迪 早稲田大学名誉教授
村山 良之 元山形大学大学院教授

森 実 大阪教育大学名誉教授
谷田部 玲生 桐蔭横浜大学教授

吉田 道代 和歌山大学大学院教授
日本文教出版株式会社

防災・安全教育に関する校閲

片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
河田 恵昭 関西大学特別任命教授

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲
大内 進 星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員

道徳教育に関する校閲

島 恒生 畿央大学大学院教授



● 教科書の表紙デザインについて

学習内容が表紙からも伝わるように写真を多く配置しています。たくさん色でまるくタイトルを囲んだデザインは多様性とそれぞれの繋がりが公平性を表現し、そこを起点に放射状に写真をあしらうことで、新しい未来へ広がっていくようにという願いを込めました。

表紙デザイン：大藪胤美(フレーズ)

SDGs：国連(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>) "The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States".

※本文中の「Word」の文言は、「Microsoft Word」を指します。Microsoft、Wordは、Microsoftグループ企業の商標です。Google、Googleドキュメントは、Google LLCの商標です。本資料に掲載されている会社名、製品名、ソフト名、ロゴ等は各社の登録商標または商標です。



この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

本書の無断転載・複製を禁じます。
CD22357

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690